

田園都市・青葉に関する基礎情報(その2)

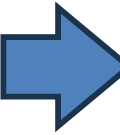
田園都市青葉気候市民会議

第1回

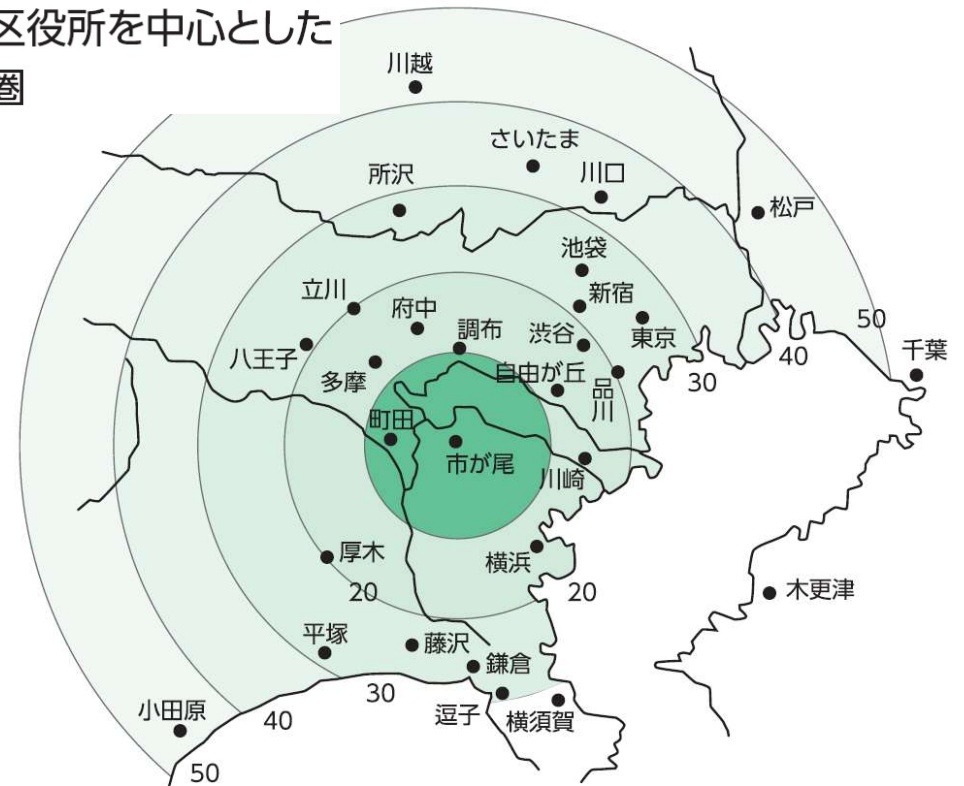
2023年11月5日

東京大学未来ビジョン研究センター

大塚 彩美



青葉区役所を中心とした首都圏



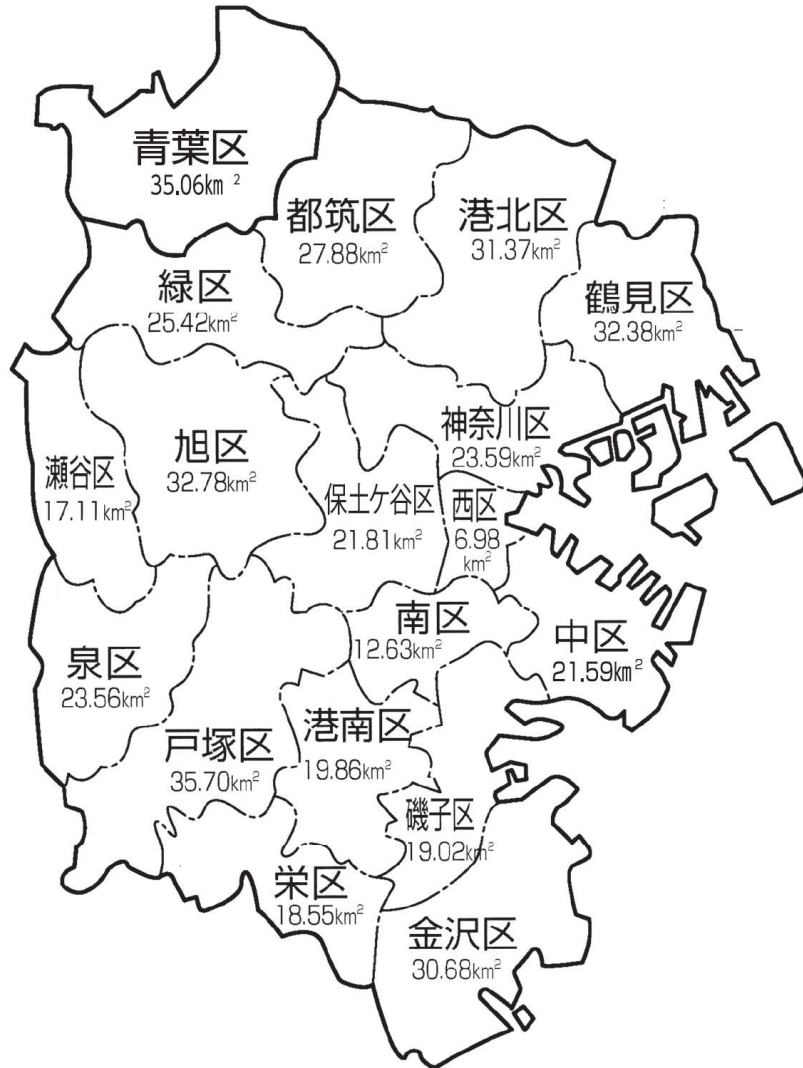
項目	青葉区	横浜市
行政区の面積 (km ²)	35.06	435.95
人口 (人)	310,490	3,771,961
世帯数 (世帯)	135,100	1,781,879
1世帯あたり人員 (人)	2.3	2.12

データの出典: 左上図 マピオン <https://www.mapion.co.jp/map/admi14.html>
 右上図 よこはまっぴ 青葉区、左下表および右下図 なるほどあおば2022

横浜市中の青葉区



平成6(1994)年11月6日に港北区や緑区の一部から再編し、誕生



青葉区の主な指標のデータについて、横浜市内の他区と比較したものの

項目	単位	青葉区	横浜市	18区中の順位	18区のベスト3	データ基準日(年度)
行政区の面積	km ²	35.06	435.95	2	1.戸塚区 2.青葉区 3.旭区	令和4年3月25日
人口	人	310,490	3,771,961	2	1.港北区 2.青葉区 3.鶴見区	令和4年10月1日
世帯数	世帯	135,100	1,781,879	3	1.港北区 2.鶴見区 3.青葉区	令和4年10月1日
1世帯あたり人員	人	2.30	2.12	3	1.都筑区 2.泉区 3.青葉区	令和4年10月1日
人口密度	人/km ²	8,816	8,616	8	1.西区 2.西区 3.港北区	令和4年10月1日
市外からの転入者	人	13,903	139,021	2	1.港北区 2.青葉区 3.鶴見区	令和3年(1月~12月)
市外への転出者	人	13,727	131,362	2	1.港北区 2.青葉区 3.鶴見区	令和3年(1月~12月)
平均年齢	歳	45.8	46.7	6 (若い順)	1.都筑区 2.港北区 3.西区	令和4年9月30日
出生児数	人	1,989	24,876	4	1.港北区 2.鶴見区 3.戸塚区	令和3年(1月~12月)
昼夜間人口比率		76.6	91.1	16	1.西区 2.中区 3.金沢区	令和2年国勢調査
区民の通勤先(通学も含む)のうち東京都の占める割合	%	39.2	24.3	1	1.青葉区 2.港北区 3.鶴見区	令和2年国勢調査
事業所数(全産業)	事業所	7,629	115,877	7	1.中区 2.港北区 3.鶴見区	令和3年6月1日
事業所数(卸売・小売業)	事業所	1,622	24,426	7	1.中区 2.港北区 3.西区	令和3年6月1日
製造業事業所数[従業者4人以上]	事業所	45	2,214	14	1.港北区 2.都筑区 3.鶴見区	令和2年6月1日
納税者1人あたり個人住民税額[市民税・県民税]	円	340,003	255,946	1	1.青葉区 2.中区 3.都筑区	令和3年度
乗用車の保有台数(事業所含む)	台	87,692	923,966	1	1.青葉区 2.港北区 3.戸塚区	令和3年3月31日
道路[総延長]	km	740	7,869	1	1.青葉区 2.戸塚区 3.旭区	令和3年4月1日
街路樹数[歩道並木]	本	15,350	86,891	1	1.青葉区 2.都筑区 3.金沢区	令和4年3月31日
緑被率	%	28.8	27.8	10	1.緑区 2.栄区 3.泉区	令和元年度
建築協定数	件	50	171	1	1.青葉区 2.金沢区 3.戸塚区	令和4年6月
公園数	か所	233	2,709	1	1.青葉区 2.戸塚区 3.金沢区	令和4年3月31日
経営耕地のある農家数	戸	392	3,030	2	1.都筑区 2.青葉区 3.泉区	令和2年2月1日
経営耕地のある農家の経営耕地面積	a	16,823	167,451	4	1.泉区 2.都筑区 3.緑区	令和2年2月1日
田の経営耕地面積[農業経営体]	a	3,199	10,945	1	1.青葉区 2.緑区 3.戸塚区	令和2年2月1日
自治会町内会加入率	%	68.9	69.4	13	1.金沢区 2.栄区 3.旭区	令和3年4月1日
エコハマ3R夢(スリム)1人1日あたり燃やすごみの排出量	g	402	397	11 (少ない順)	1.港北区 2.西区 3.神奈川区	令和3年度
年間火災発生件数	件	40	698	7 (多い順)	1.中区 2.鶴見区 3.港北区	令和3年(1月~12月)
国政選挙の投票率(衆議院選挙)	%	60.83	56.07	1	1.青葉区 2.栄区 3.都筑区	令和3年10月31日
18歳・19歳の投票率(衆議院選挙)	%	53.49	47.16	1	1.青葉区 2.港北区 3.栄区	令和3年10月31日

データの出典: 左側地図 <https://good-luck-day.com/yokohama-district-list/> およびなるほどあおば2022、右表 なるほどあおば2022より抜粋

特集

データで見よう!

青葉区の魅力

青葉区の緑・農業

街路樹〔歩道並木〕の多さが
横浜市第1位



青葉区は横浜市内で街路樹数〔歩道並木〕第1位を誇ります。樹種別で見るとイチョウが一番多く、2番目がハナミズキ、3番目がサクラ類です。

春はサクラのピンクから始まり、追ってハナミズキの白や薄ピンクの花、そして秋にはイチョウの葉の黄色。いつもの道、身近な街路樹からも季節の美しさを味わえます。

公園の多さが
横浜市第1位



青葉区内にある233の公園は、桜・原っぱ・大きな遊具等、それぞれに特徴があり、多世代で楽しむことができます。

また、地域の皆様を中心に結成された「公園愛護会」は、身近な公園の日常的な管理を行っており、いつも公園を見守ってくれています。

田の経営耕地面積
横浜市第1位



果樹の農業経営体数
横浜市第3位



青葉区のライフ



男性の平均寿命
全国第1位



厚生労働省発表の「平成27年市町村別生命表」で、青葉区の男性の平均寿命が全国第1位(青葉区平均:83.3歳、全国平均:80.8歳)となり、女性の平均寿命も全国第9位(青葉区平均:88.5歳、全国平均:87.0歳)となりました。

年少人口
横浜市第2位



青葉区では年少人口(15歳未満)が38,874名と多く、横浜市内第2位となっています。また、市立小学校が30校、市立中学校が13校と多く設置され、学校数は横浜市内第1位(令和4年度市立学校現況より)を誇ります。そのほか、認可保育所数(65か所)が市内第4位、幼稚園数(18か所)が市内第3位、教育、学習支援事業所数が市内第1位など、教育環境が充実していることも青葉区の魅力です。

青葉区の教育



区内の大学数
横浜市第1位



2010年1月には各大学と連携・協力に関する基本協定を締結し、区民向け特別講座の実施や大学生による地域貢献活動等、様々な事業を展開しています。

図書館の蔵書数 ※中央図書館除く
横浜市第1位

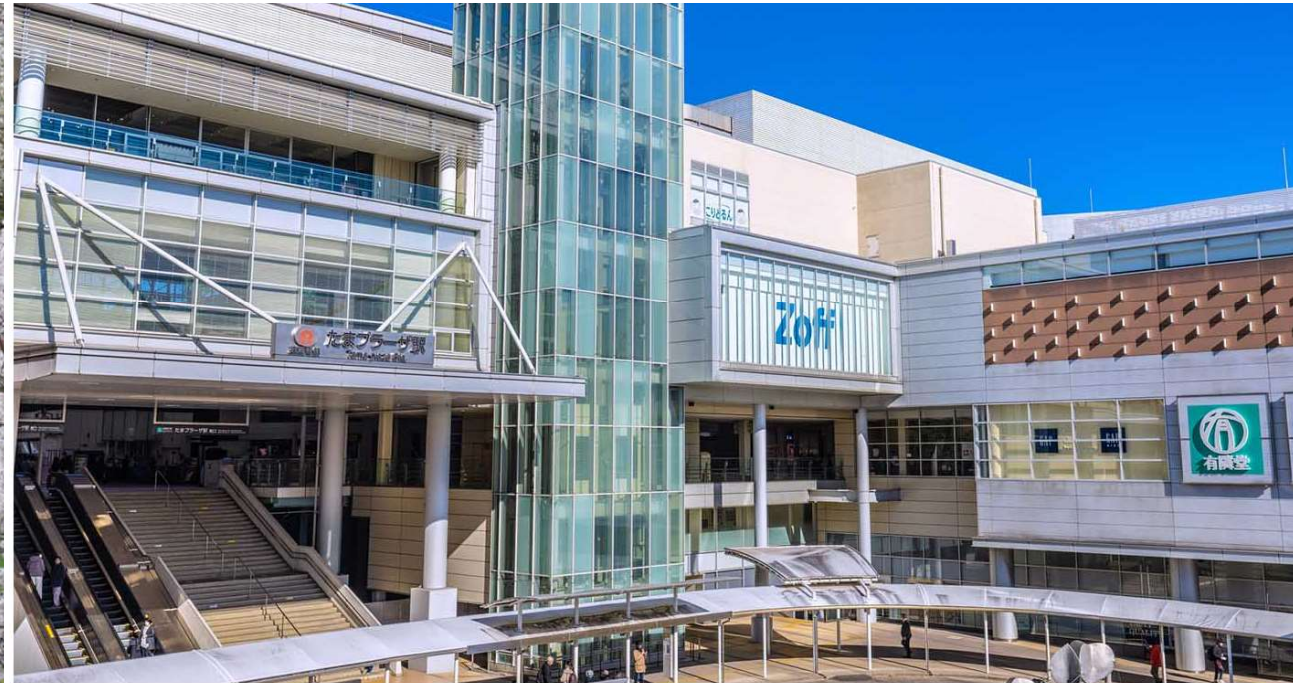
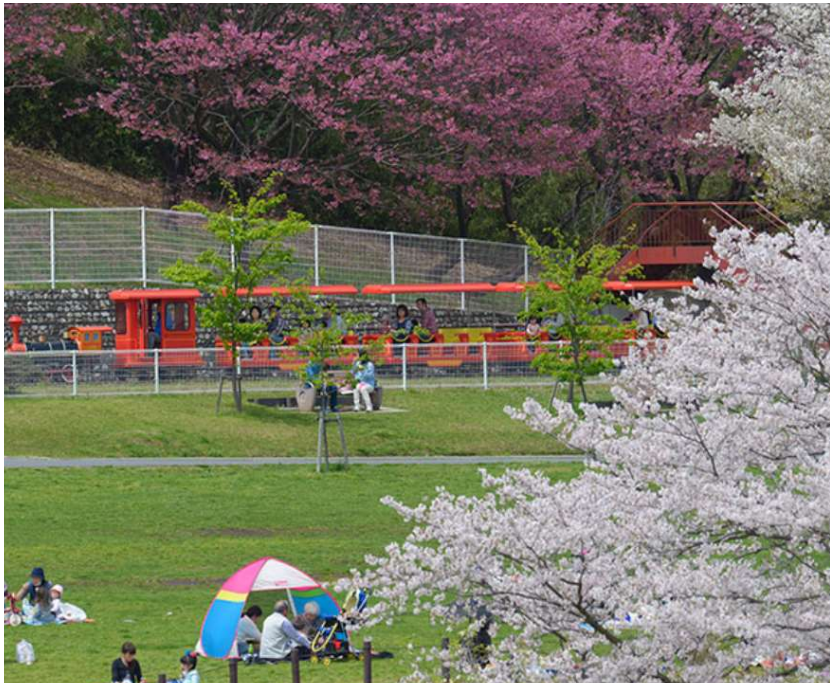


あざみ野駅から徒歩3分の場所にある山内図書館は、蔵書数が190,895冊あり、中央図書館(1,739,973冊)を除くと市内で1番の多さです。





田園都市青葉 という文脈で脱炭素やエネルギーをどのように捉えるか



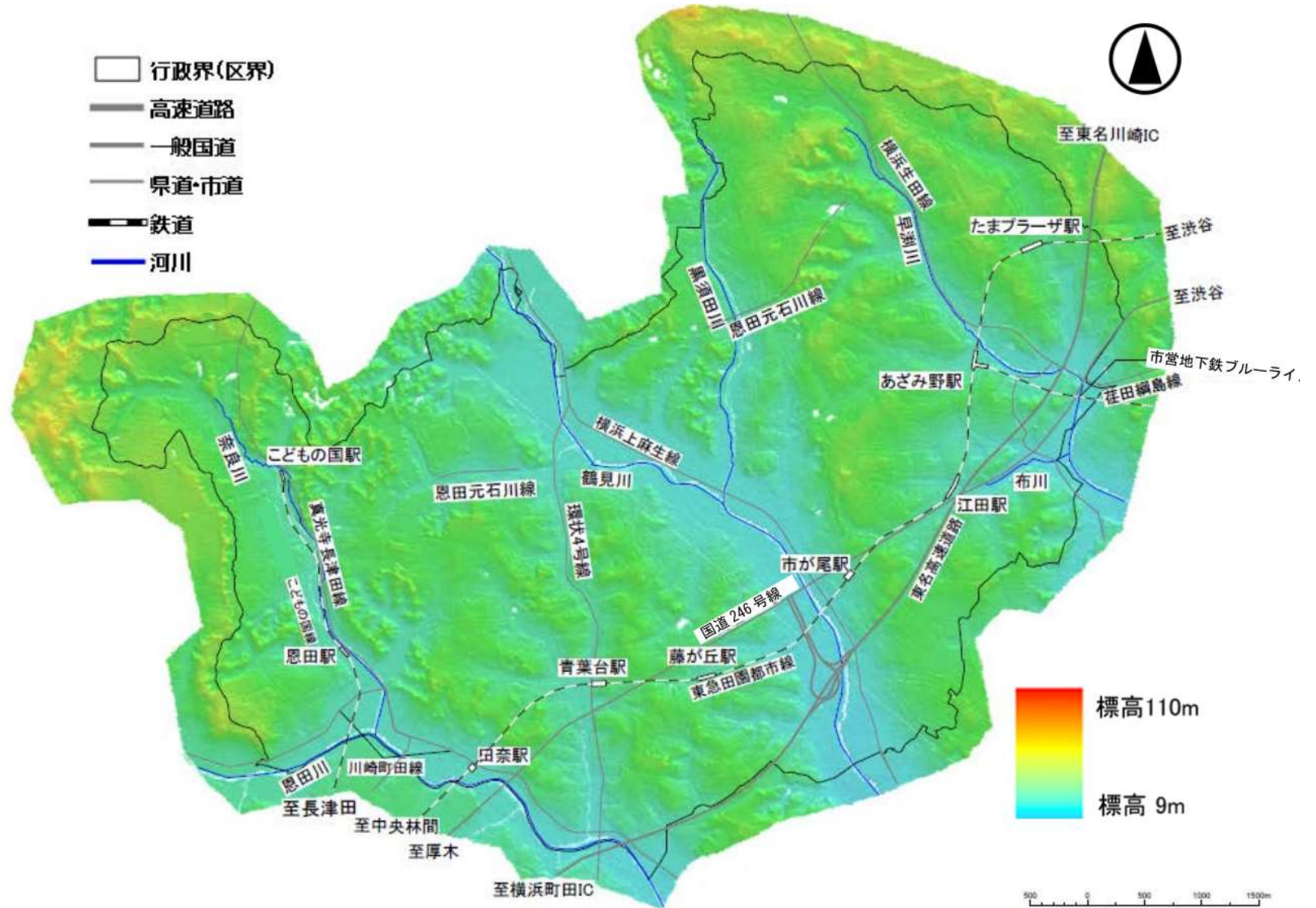
地勢

多摩丘陵からつづく 丘のまち

区を中心を鶴見川が流れ、都市圏ながら緑豊かな田園の風景が広がる

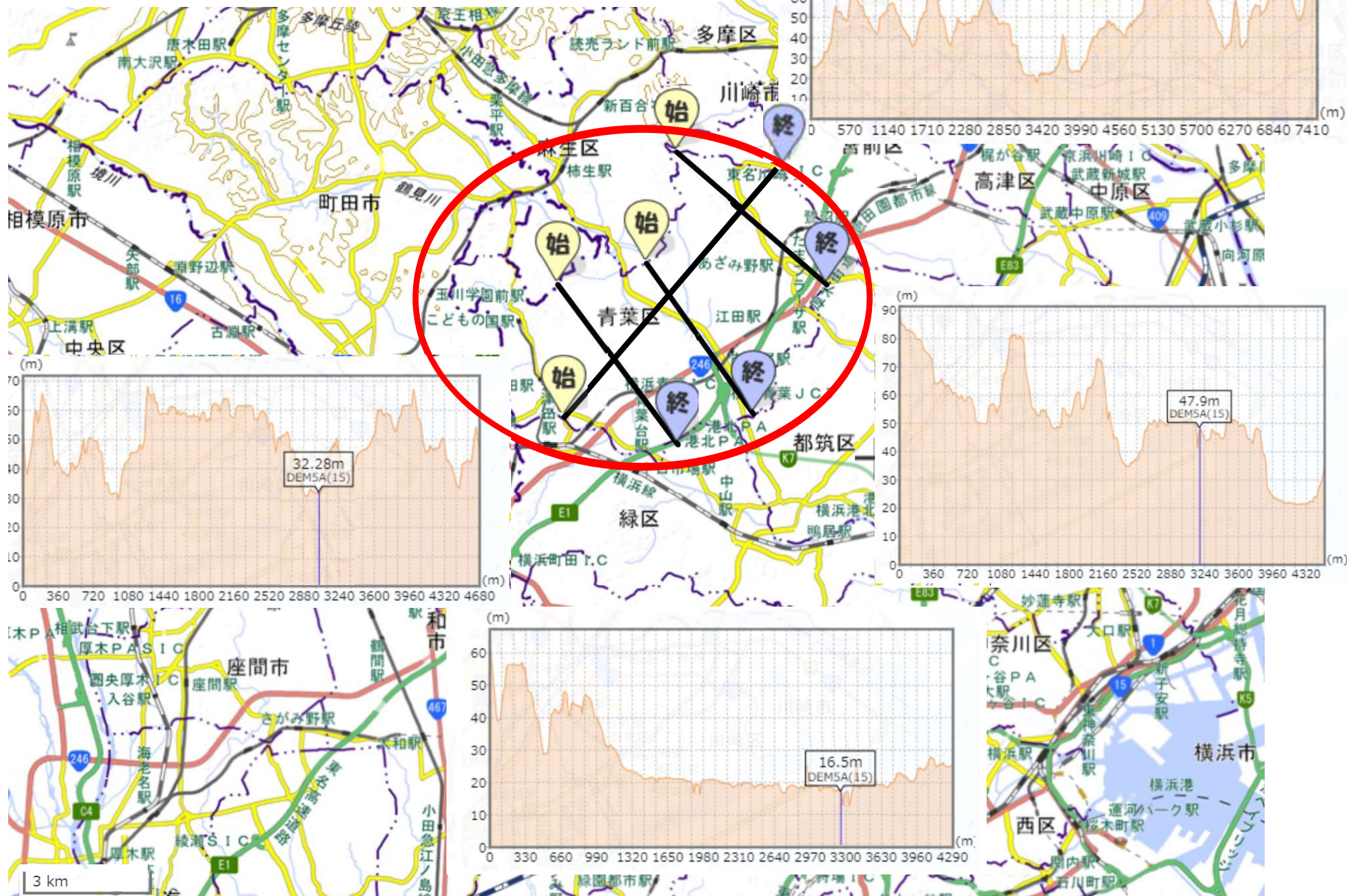


<https://ja-jp.topogra>



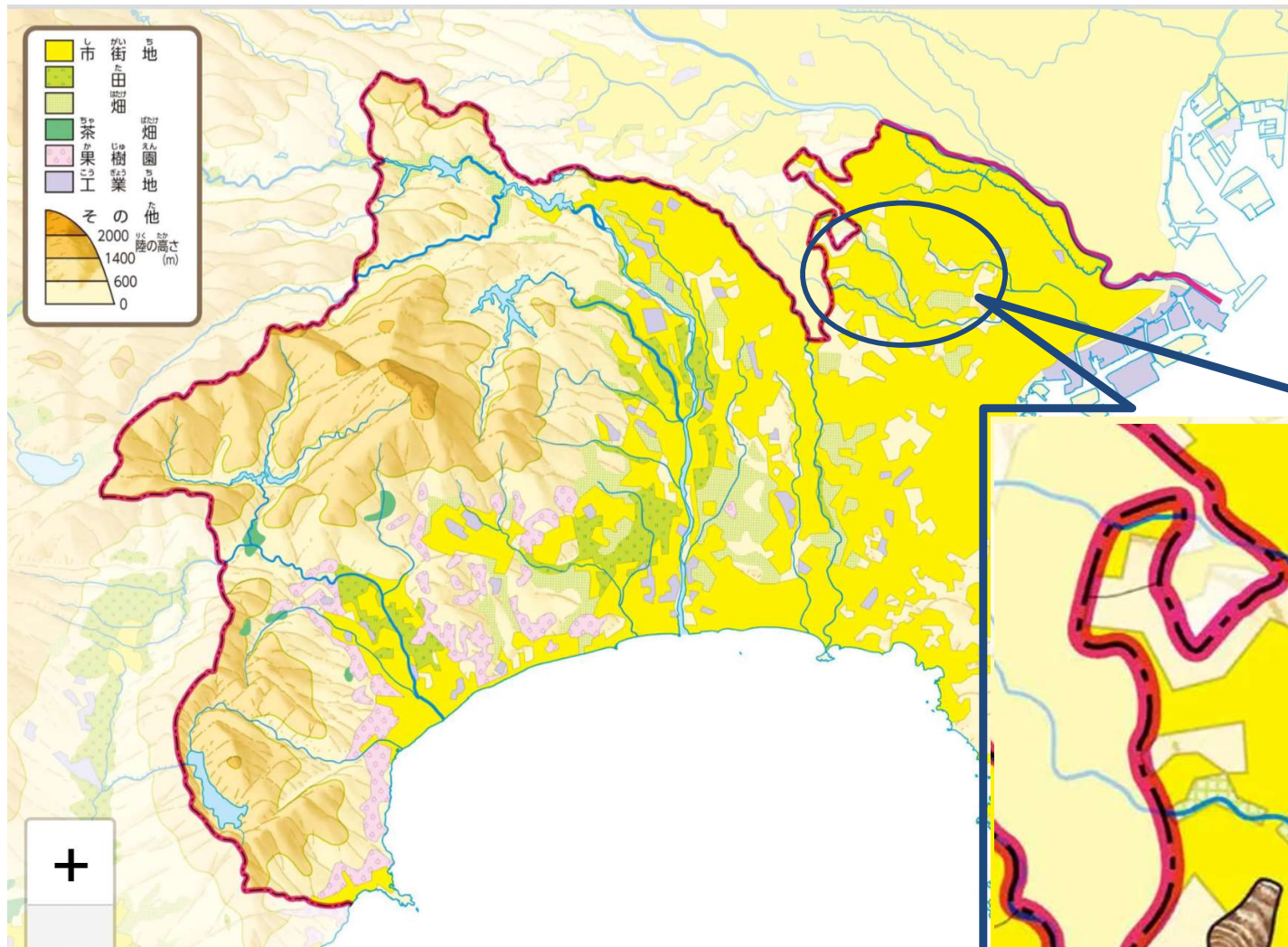
図：青葉区の標高・河川図 (出典：基盤地図情報数値標高モデル5mメッシュデータ)

【参考】地形・断面標高差

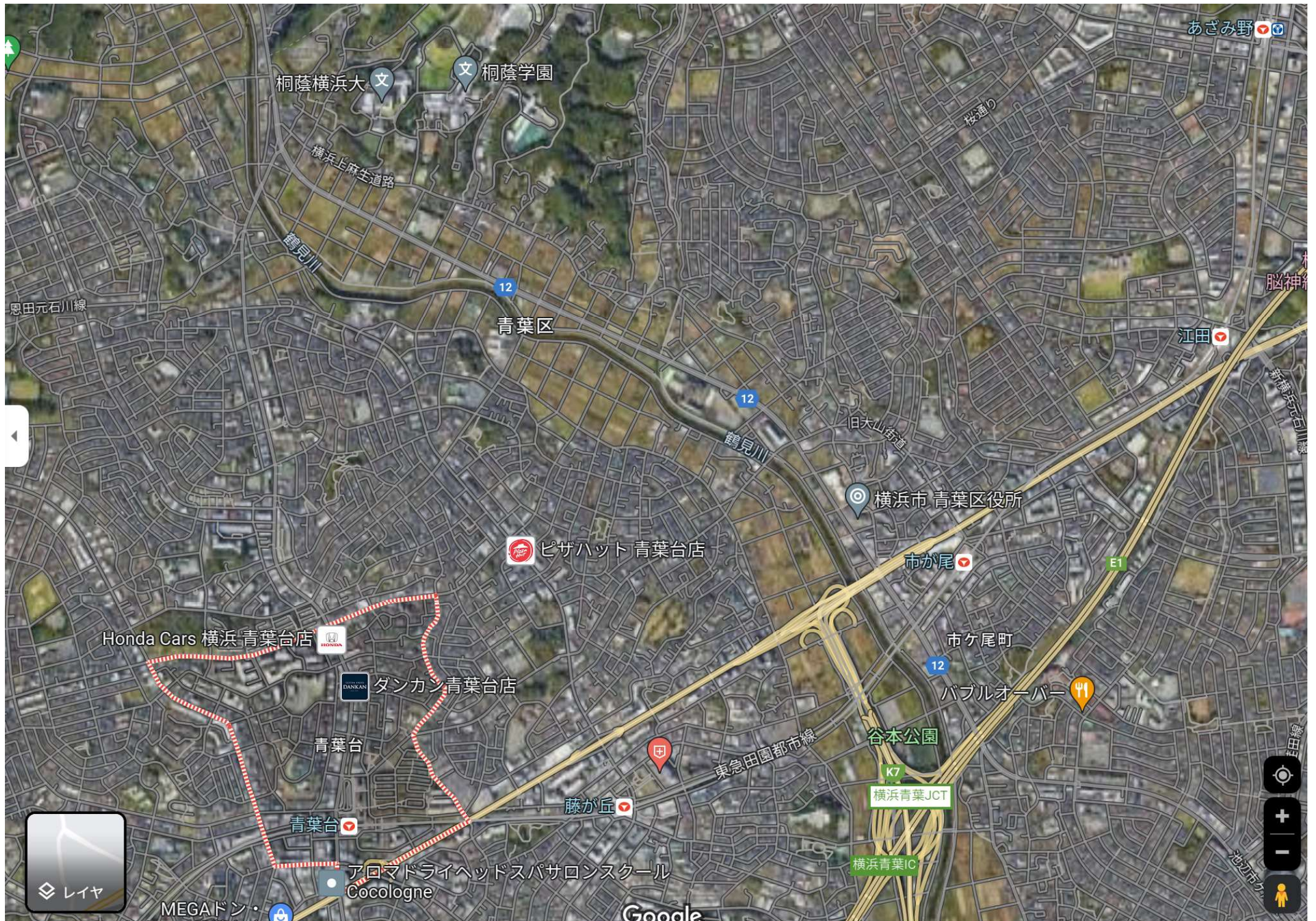


データの出典：国土地理院 電子国土Web、各グラフの左端が「始」地点、右端が「終」地点を示す

土地利用と産業



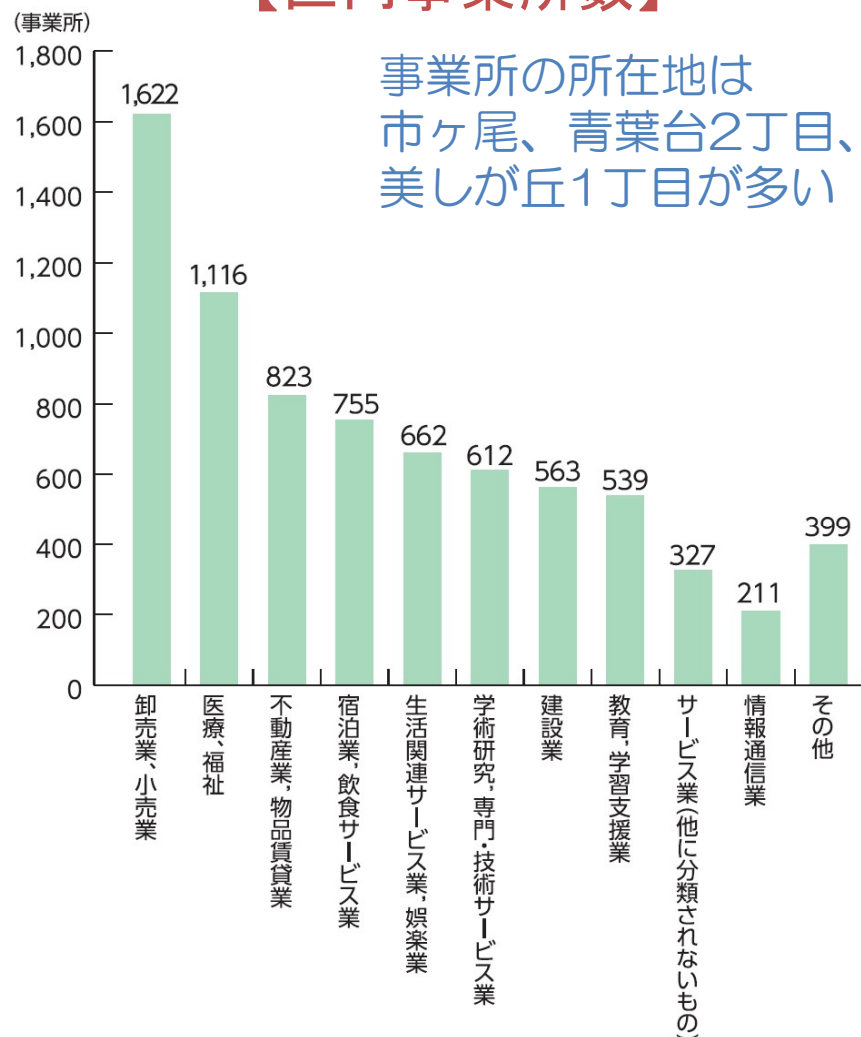
目立った工業はないが、なしやさといもが農産物で紹介されている。



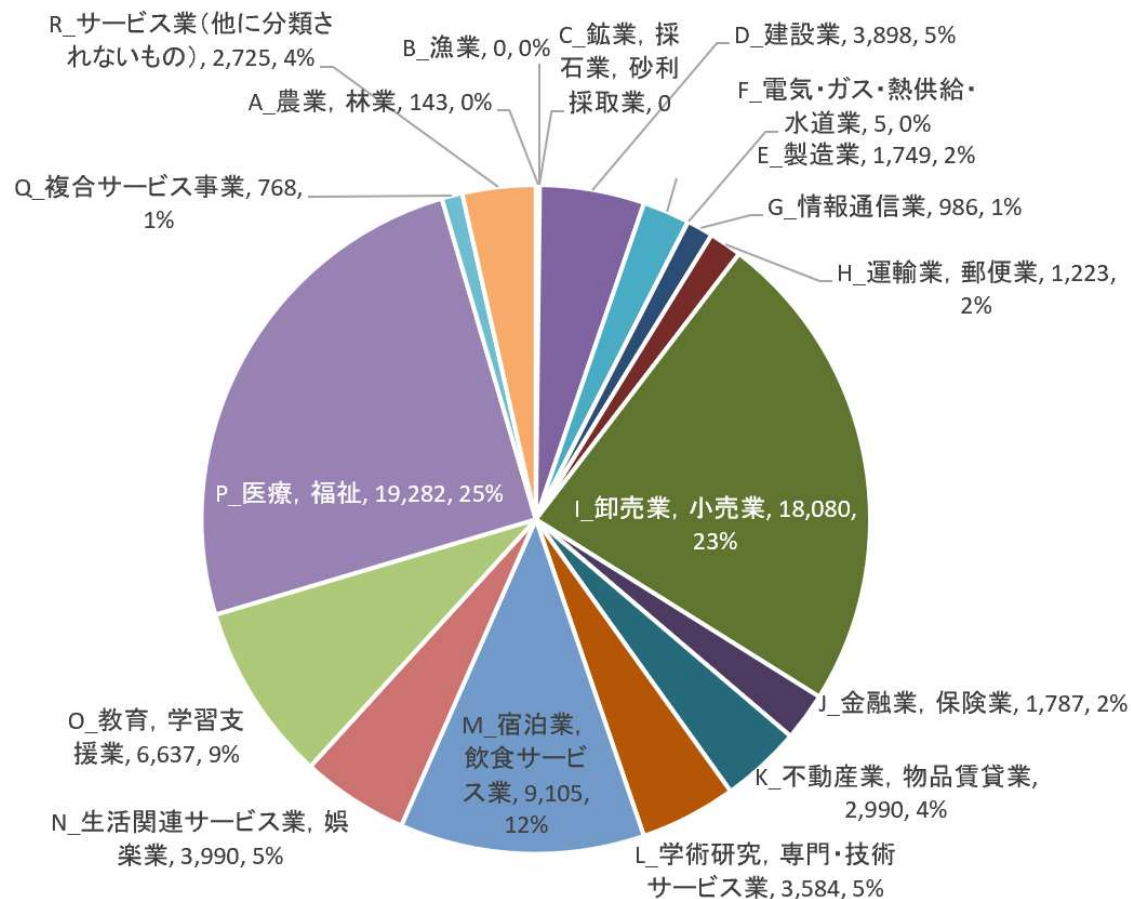
産業構造

事業所数では卸/小売り業が最も多いが、従業員数では医療・福祉で働く人が最も多い。農地面積や経営農家数は横浜市内で上位だが区内割合では数値として現れない。2050年推計は情報通信で若干増の他は大きな変化はなし。

【区内事業所数】



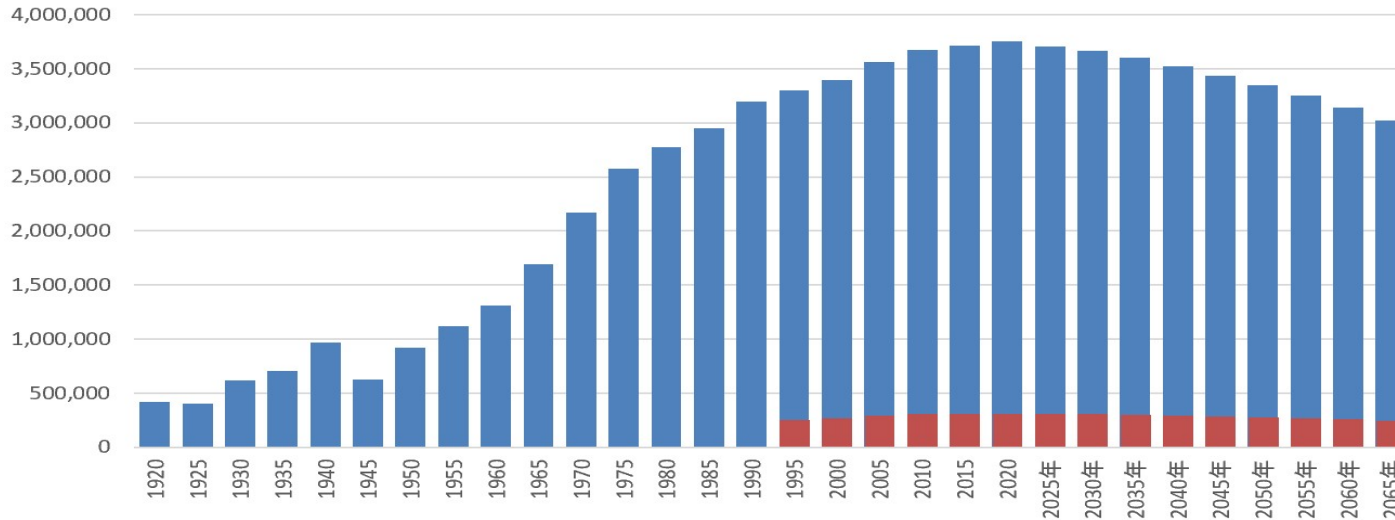
【産業別従事者数・割合】



人口

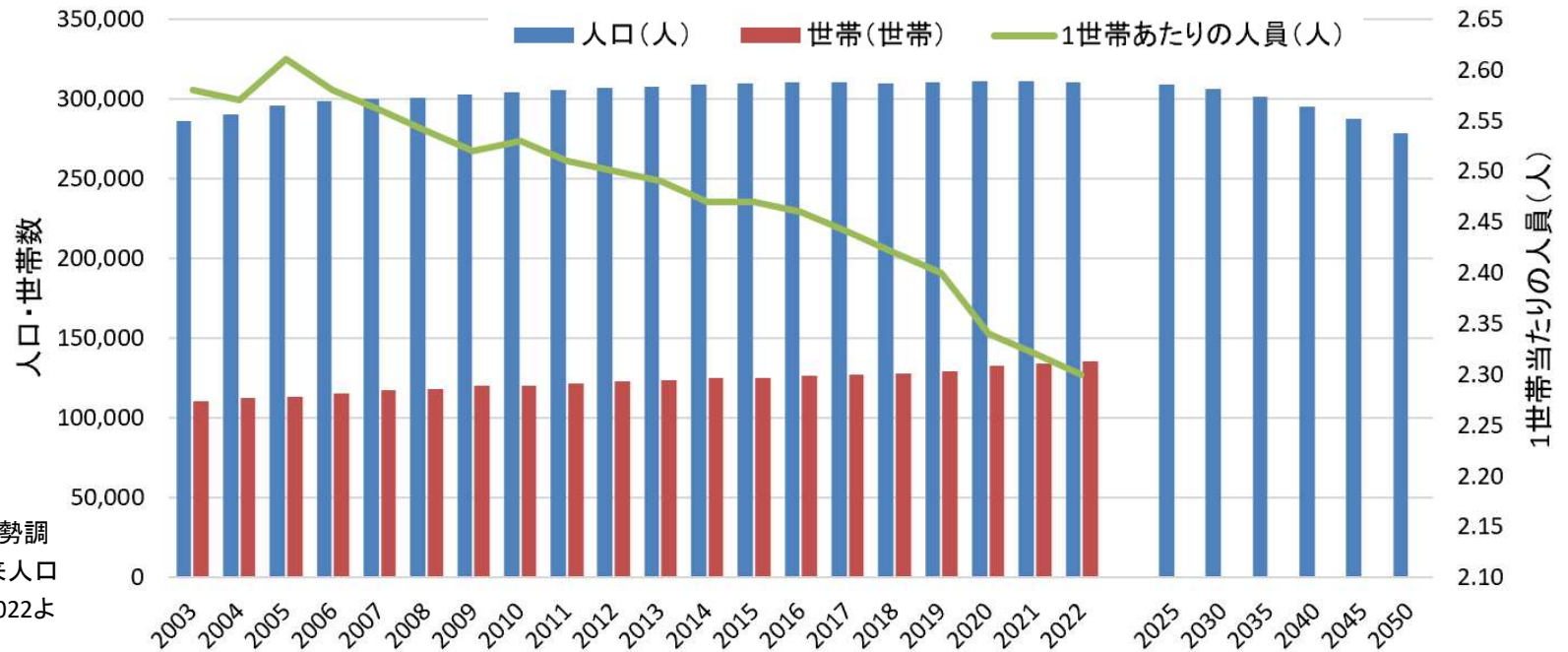
横浜市の急激な人口増加を受けて、行政区再編で1994年に誕生した青葉区。2007年に30万人に達し、その後も緩やかに増加。今後は横浜市、青葉区ともに人口減時代に入ると推計されている。

【横浜市および青葉区の人口推移】



人口が多い→エネルギー消費多い（＝脱炭素にはチャレンジ）も、まちの活性化のためには重要。また、単身/少人数世帯の増加は脱炭素にはマイナス要素。

【青葉区の人口・世帯数の推移】

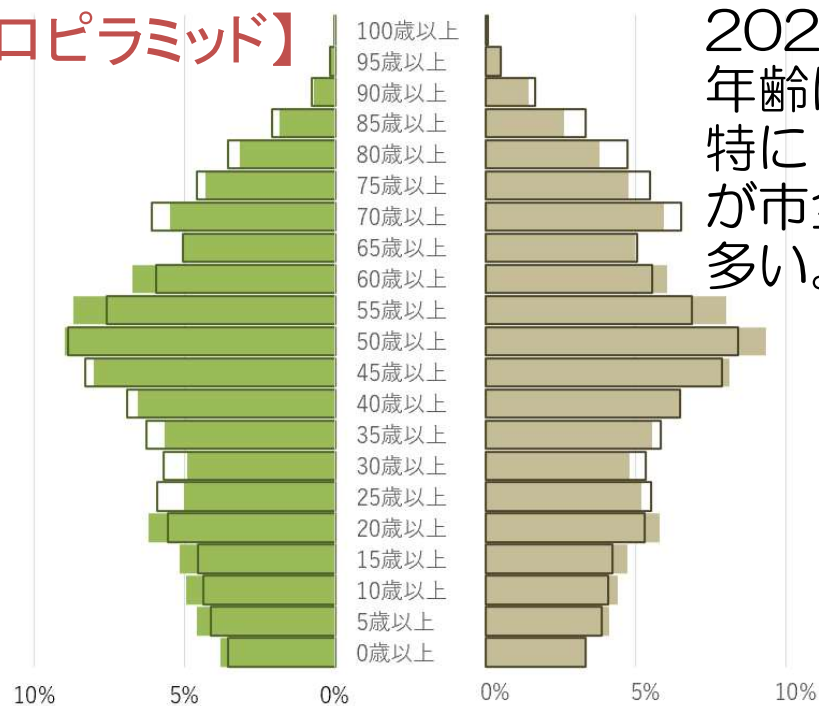


データの出典：1920年～2020年までは国勢調査結果、それ以降の推計値は横浜市将来人口推計を基にしたデータをなるべくおおよそ2022より引用

人口・年齢構成に関する参考データ

【2022年

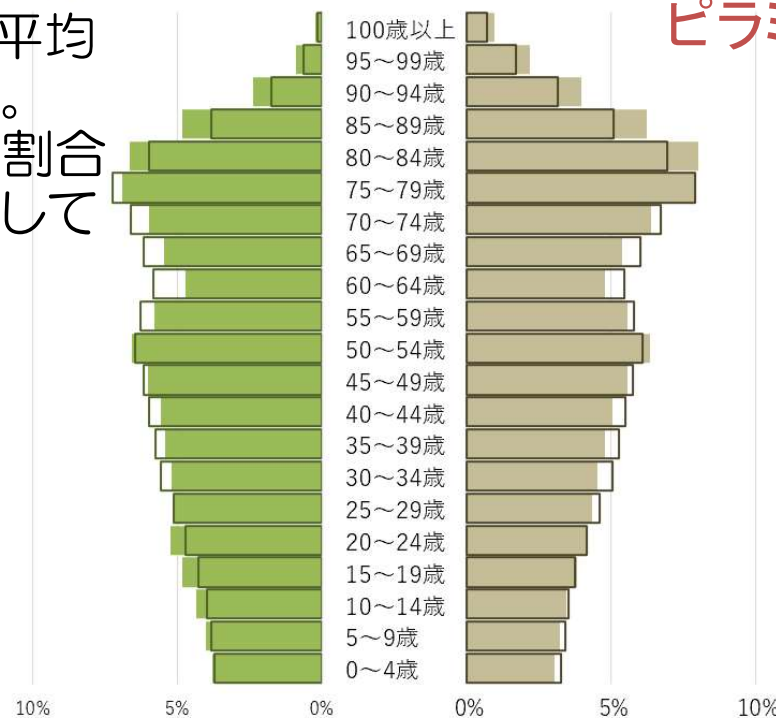
人口ピラミッド】



2022年時点の平均年齢は45.8歳。特に40歳代の割合が市全体と比較して多い。

【2050年 推計人口

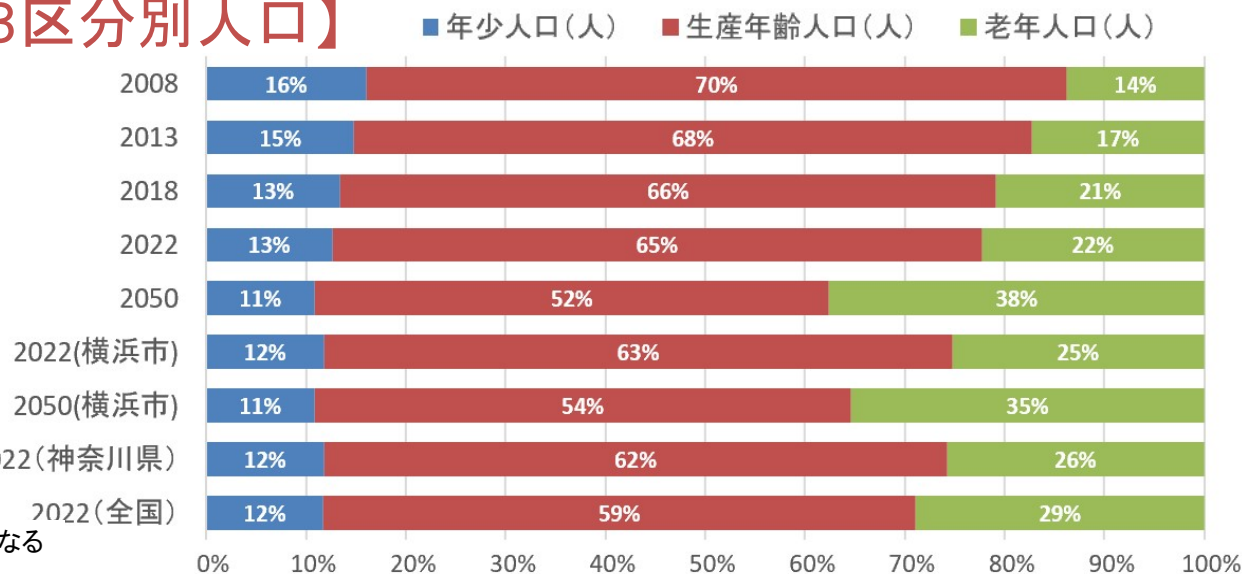
ピラミッド】



【年齢3区分別人口】

生産年齢人口の割合は65.0%で全市平均の63%と比較すると1.5ポイント高い。しかし65歳以上の高齢者割合が2008~2022年の14年間で8ポイント上昇、さらに2050年には16ポイント上昇すると推計されている。

データの出典: 元データは横浜市将来人口推計を基にしたデータを基に作成 なるほどあおば2022より引用

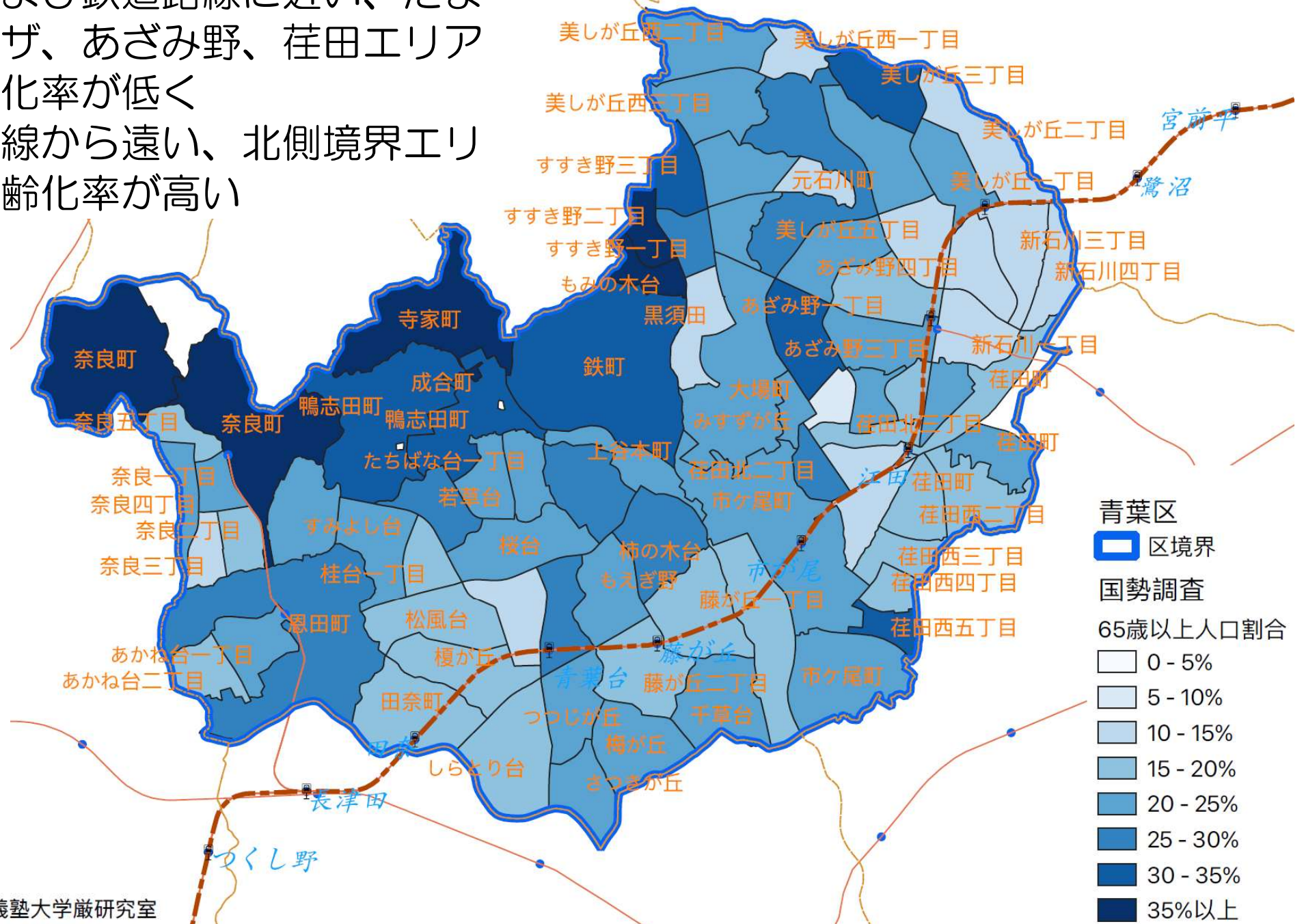


青葉区町丁分布



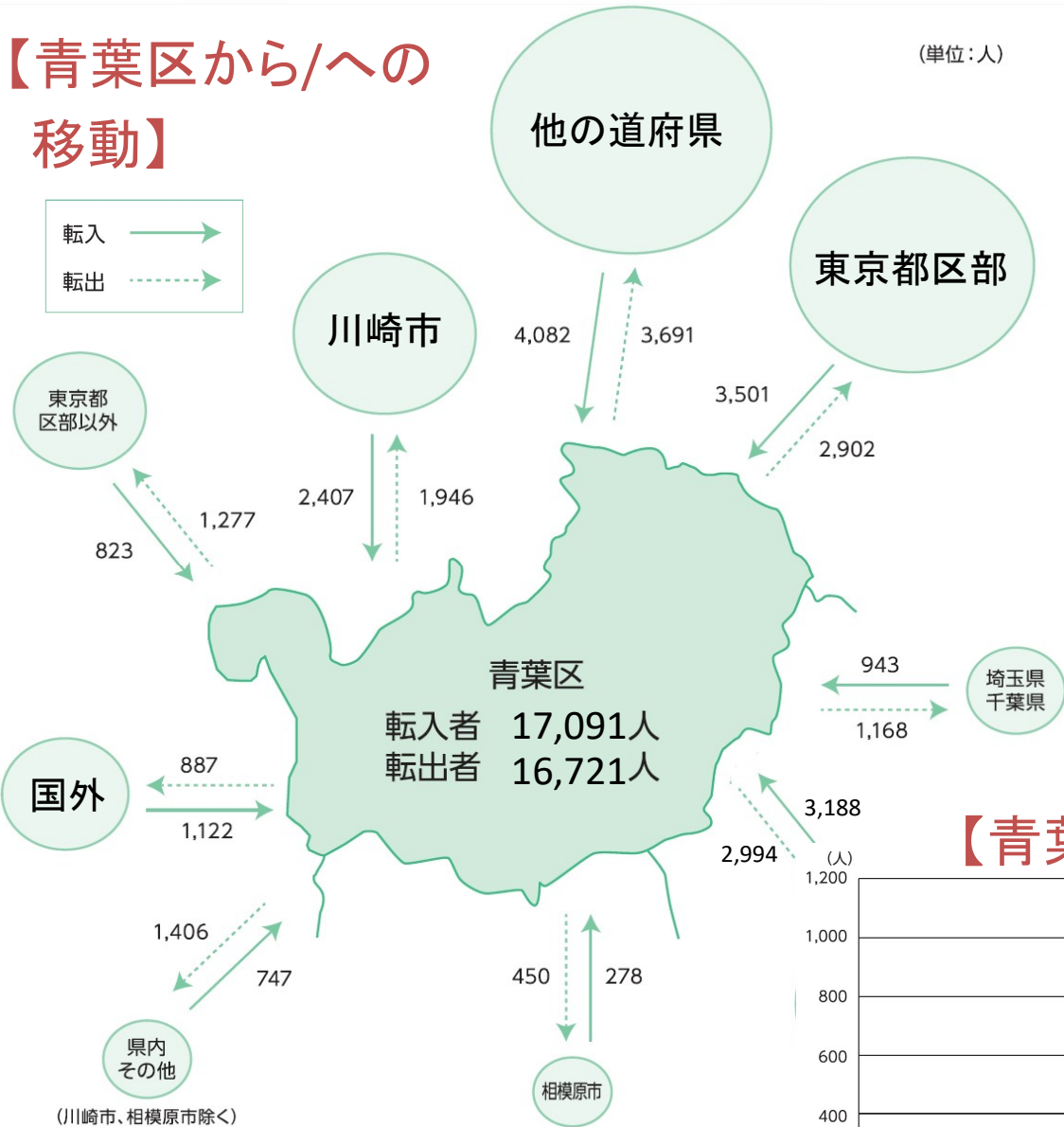
青葉区町丁別高齢化率(2020年国勢調査)

都心および鉄道路線に近い、たまプラーザ、あざみ野、荏田エリアで高齢化率が低く
鉄道路線から遠い、北側境界エリアで高齢化率が高い



人口移動に関する参考データ

【青葉区から/への移動】

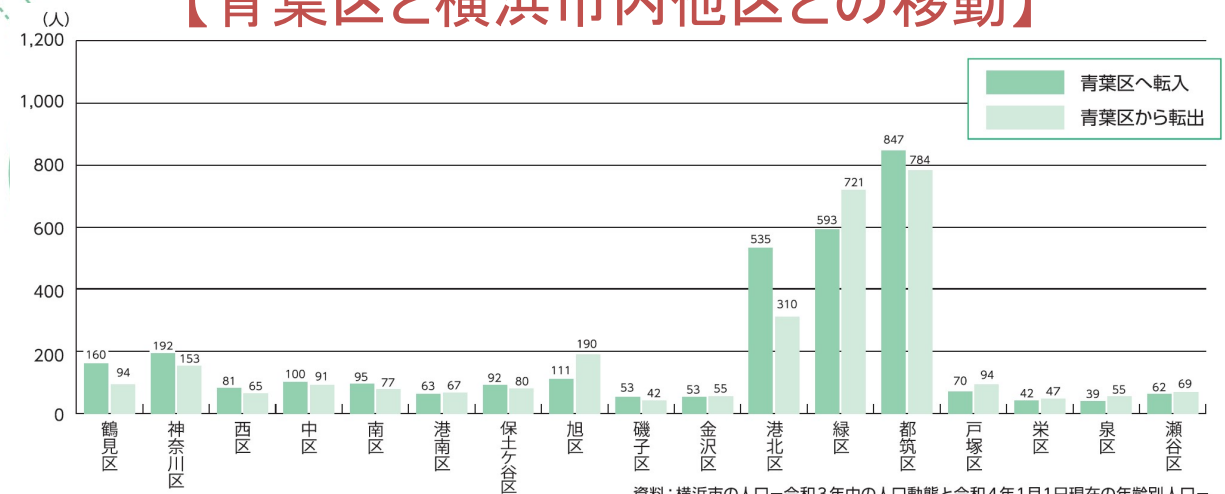


移動の特徴として

- 東京首都圏以外への移動が最大、ついで東京都区部
- 横浜市内(上記に次いで3位)での移動では 都筑区、緑区、港北区が圧倒的に多い
- 海外から/への移動が多い (横浜市内18区で1位)
- 年齢別では転入・転出ともに20代、30代が55%程度を占める

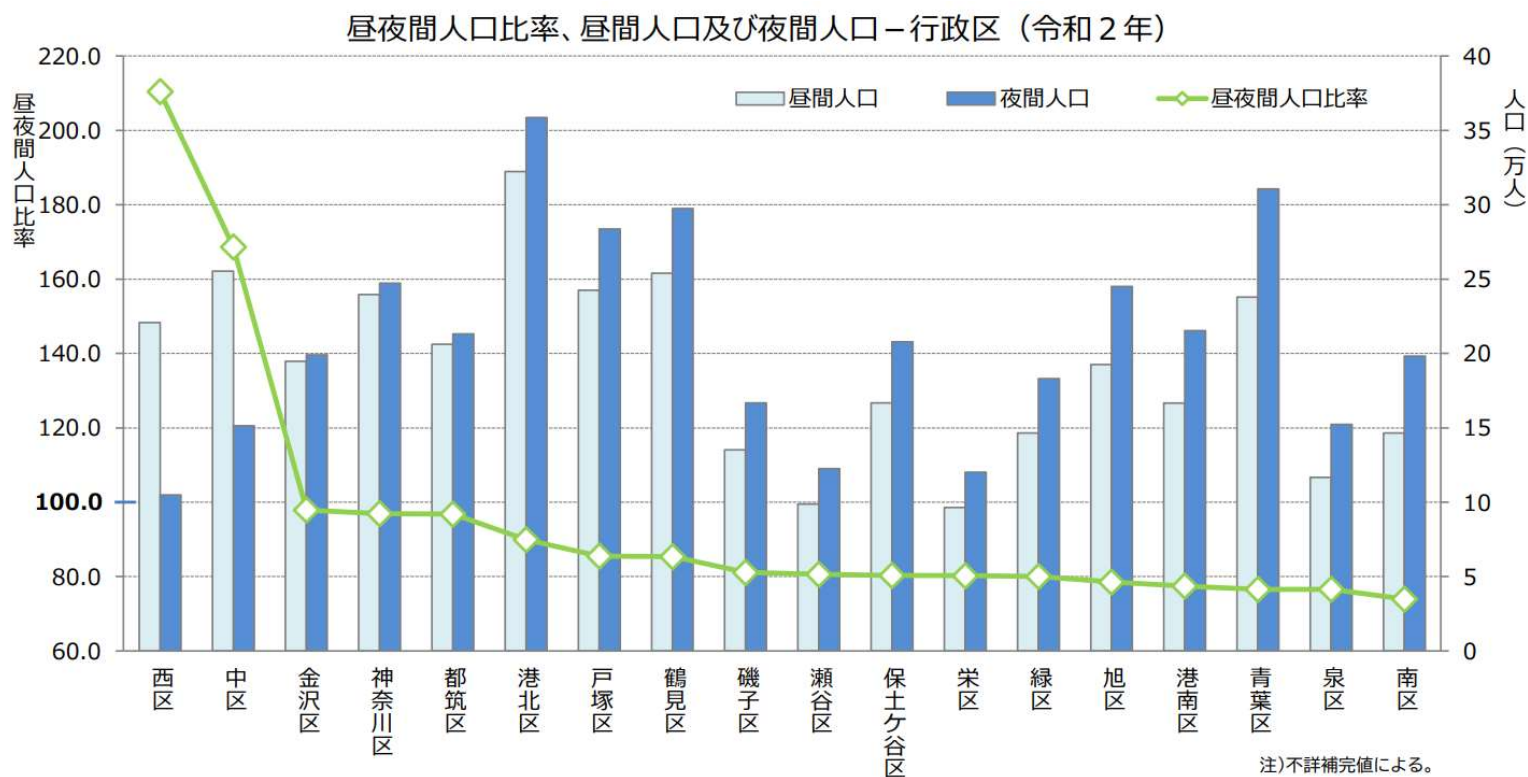
ことが挙げられる。

【青葉区と横浜市内他区との移動】

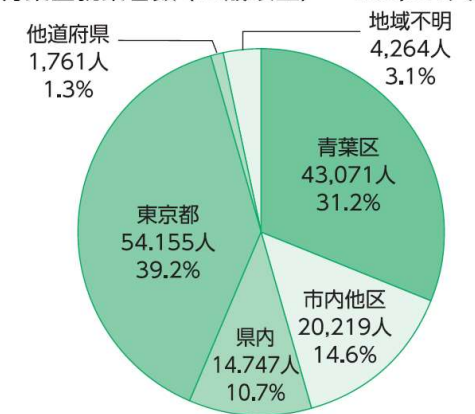


昼夜人口 = 圏域から/への通勤、通学者数

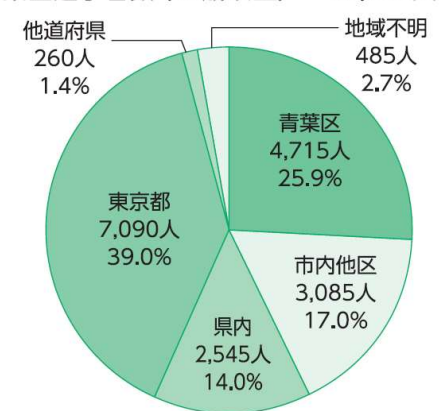
青葉区の昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の割合）は0.77
つまり、日中は学校や仕事で区外に出ている人が多い
出ていく先は東京都が最も多く、市内平均よりも15ポイント程高い
（参考：横浜 0.91, 神奈川県 0.9, 東京23区 1.3, 西区 2.1 中区 1.7）



青葉区就業者数 (15歳以上) 138,217人



青葉区通学者数 (15歳以上) 18,180人

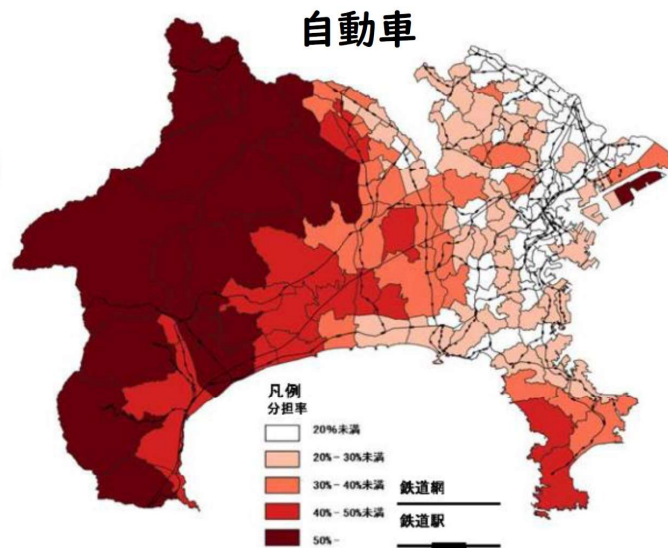
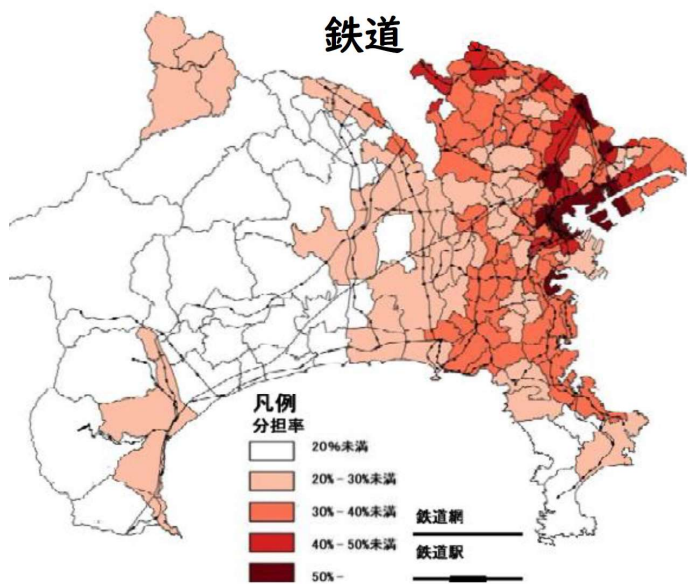


データの出典: 左図 21大都市の昼夜間人口比率の状況 - 横浜市 (記者発表資料) 右円グラフはなるほど青葉2022

「市民」とは誰か? 「市民=住民」か?

⇒地域への貢献を左右する…?

交通分担率 = どの交通手段で移動しているのか



手段選択への影響要因：

- 公共交通インフラの有無
 - 地形
 - ライフステージ
- など…

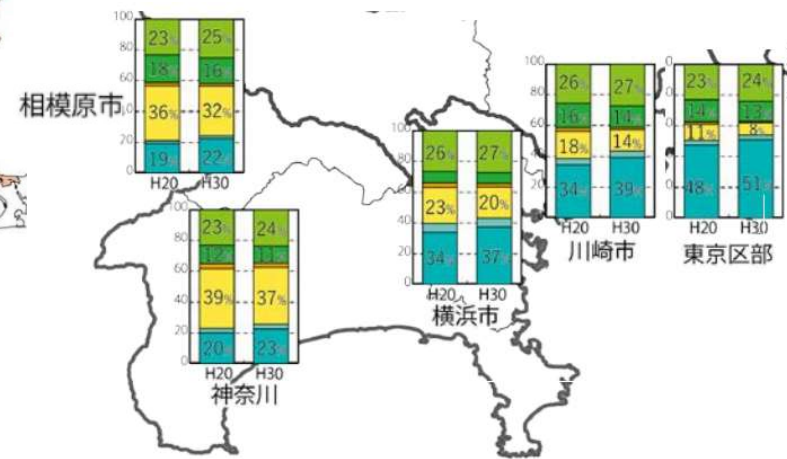
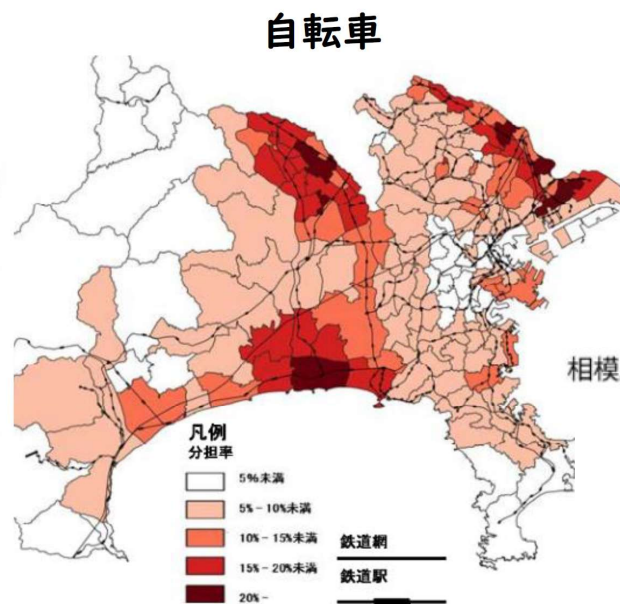
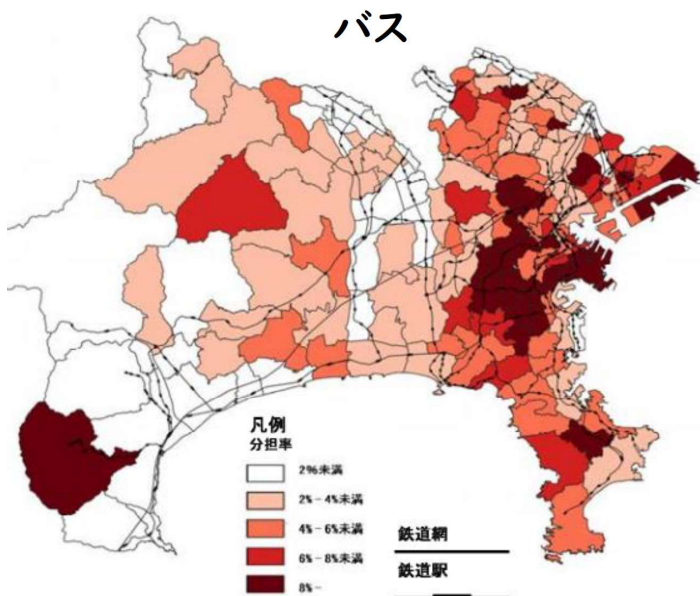
青葉の率を見ると…

鉄道: 30~40%未満

バス: 30~40%未満

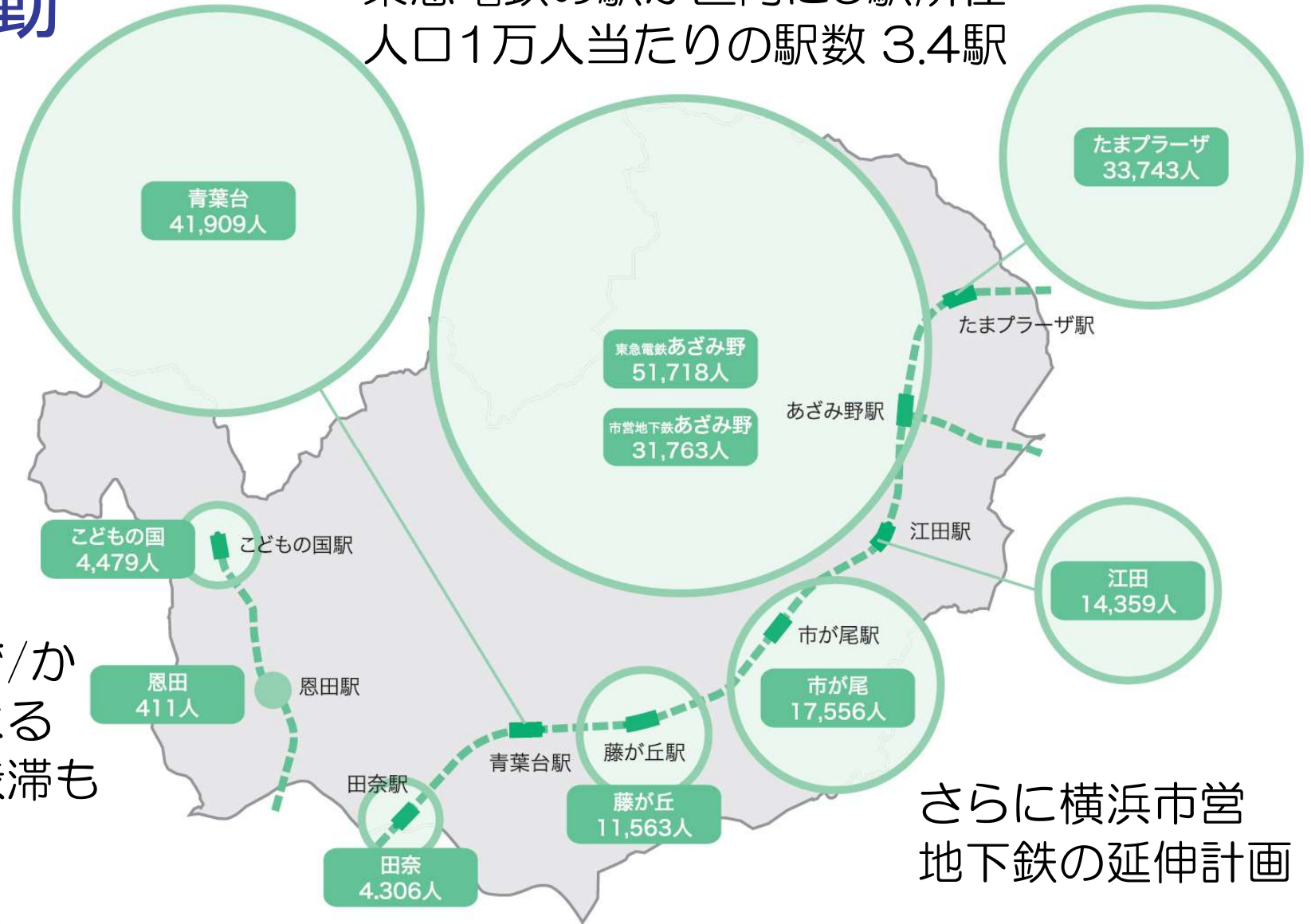
自動車: 20~30%未満

自転車: 20~30%未満



交通・移動

東急電鉄の駅が区内に9駅所在
人口1万人当たりの駅数 3.4駅



しかし、駅まで/からの送迎車による朝夕の駅前の渋滞も指摘される

さらに横浜市営地下鉄の延伸計画

●青葉区内各駅1日あたり乗客数の推移

(単位：人/日)

	市営地下鉄 あざみ野駅	東急田園都市線						東急こどもの国線		
		たまプラーザ駅	あざみ野駅	江田駅	市が尾駅	藤が丘駅	青葉台駅	田奈駅	恩田駅	こどもの国駅
令和元年度	40,423	41,442	68,009	18,813	21,724	13,378	55,319	5,628	465	5,777
令和2年度	28,382	29,703	46,788	13,413	16,027	10,332	37,174	4,082	361	3,934
令和3年度	31,763	33,743	51,718	14,359	17,556	11,563	41,909	4,306	411	4,479

データの出典：横浜市統計書を
基にしたデータ、なるほどあおば
2022より引用

交通・移動

令和4年9月現在

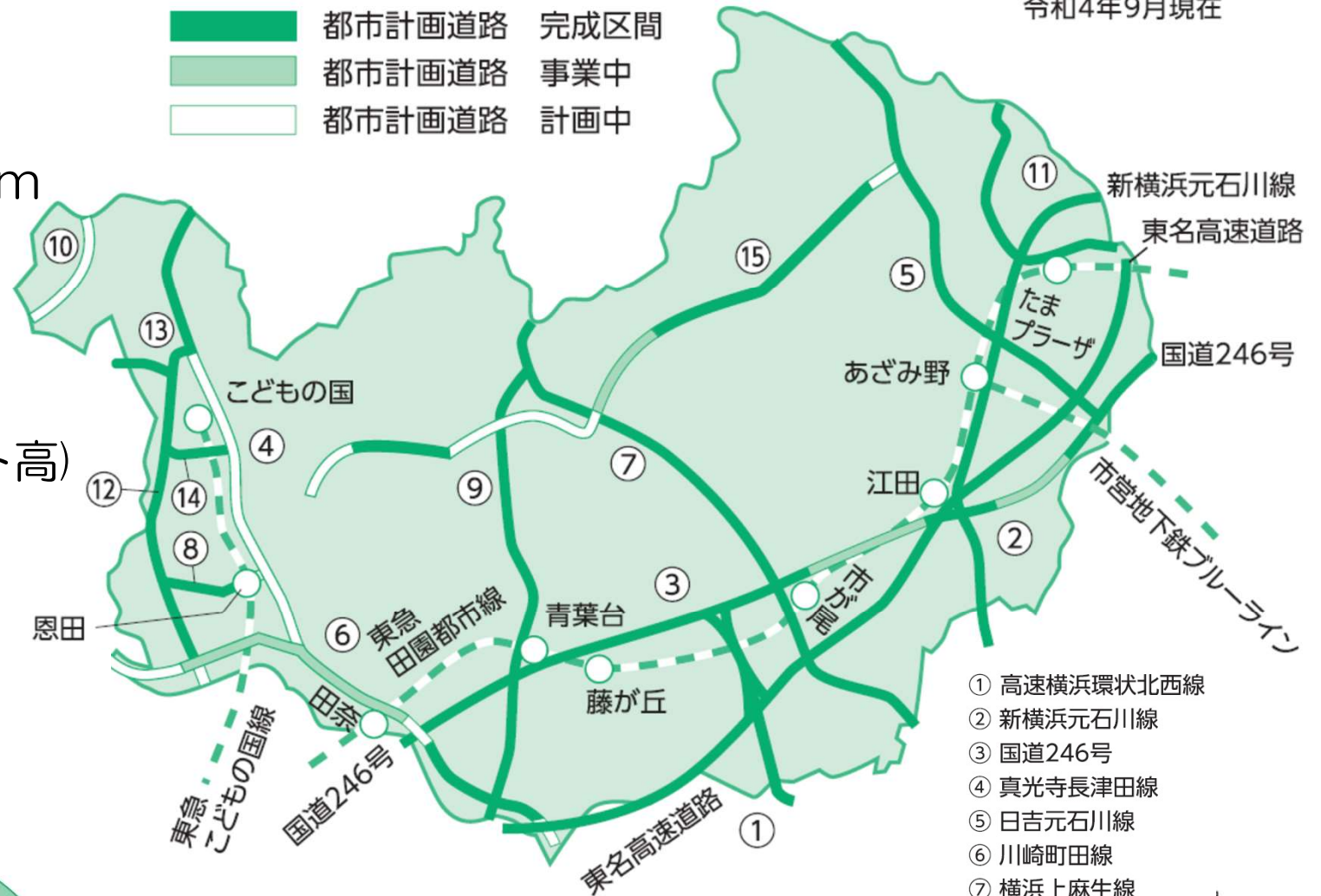
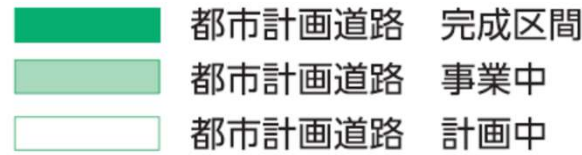
道路延長 74,0301m

乗用車保有台数

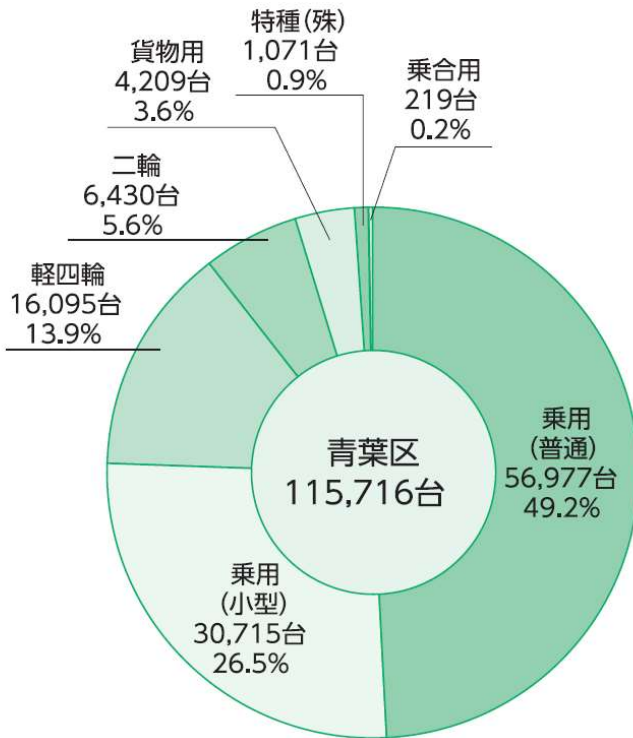
87,692台

(3ナンバーが多い、市平均より13ポイント高)

ともに市内第1位



- ① 高速横浜環状北西線
- ② 新横浜元石川線
- ③ 国道246号
- ④ 真光寺長津田線
- ⑤ 日吉元石川線
- ⑥ 川崎町田線
- ⑦ 横浜上麻生線
- ⑧ 恩田線
- ⑨ 環状4号線
- ⑩ 柿生町田線
- ⑪ 元石川線
- ⑫ 長津田奈良線
- ⑬ 奈良2号線
- ⑭ 奈良3号線
- ⑮ 恩田元石川線



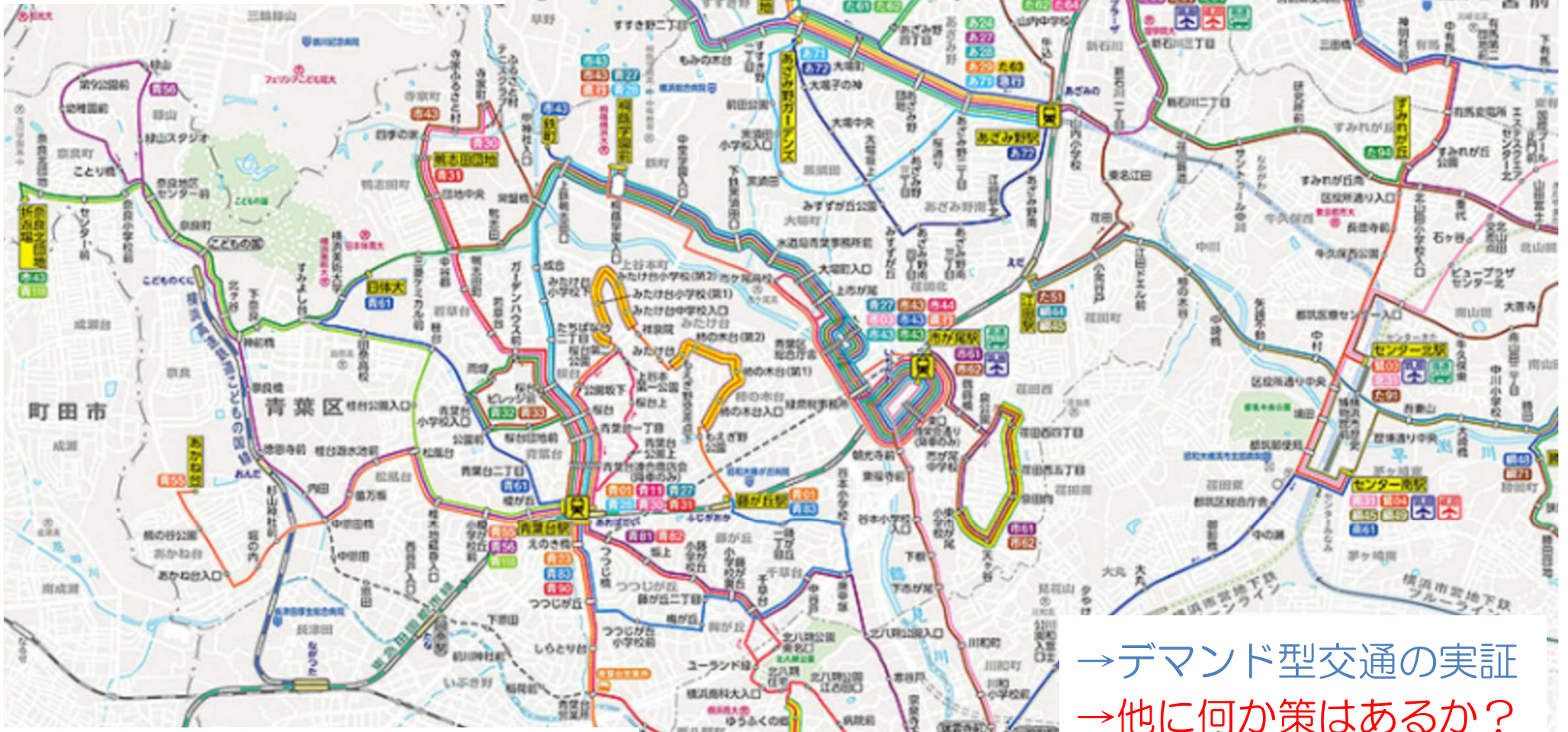
便利はよいが、気候的には…?

データの出典: 上図 道路企画局のデータを基に作成したもの、左下図横浜市統計書を基にしたもの、いずれもなるほどあおば2022より引用

交通・移動

圏域内の東急バス路線図

バス路線はある
本数もそれなりにある。
が、交通弱者はいないか



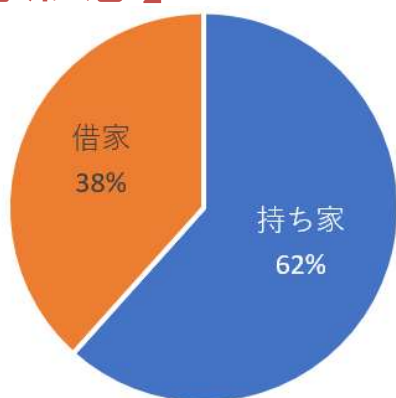
→デマンド型交通の実証
→他に何か策はあるか？

住まいと建築物

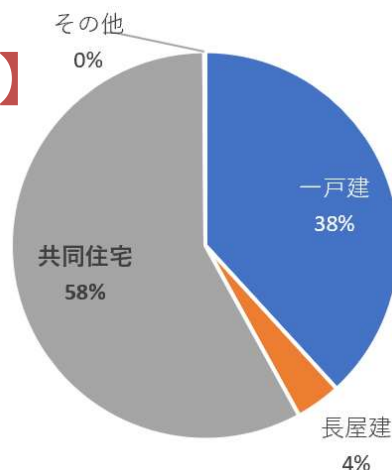
総住宅戸数：12,7350棟

- 持ち家率が比較的高い：62%（↔藤沢市 26%, 大和市 38%）
- 戸建て vs 共同住宅 は集合住宅の方が多（長屋を含めると6割強）
- 一軒の面積が広い：所有戸建て 123m²、長屋建て 133m² 集合 76m²
賃貸戸建て117m² 平均84m²（↔戸建て 藤沢81m², 大和 77m²）

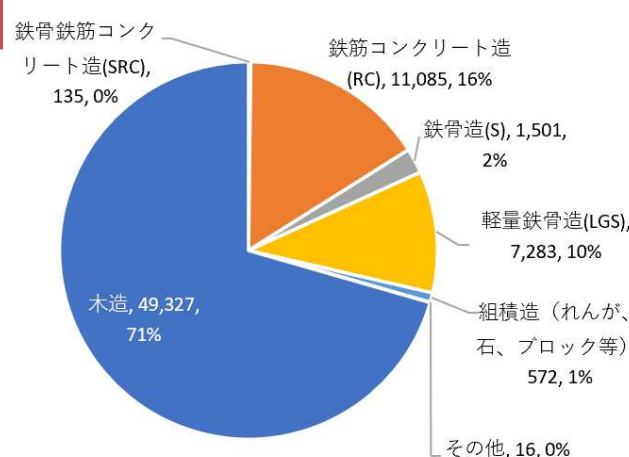
【所有形態】



【建築形態】



【構造】



【建築の時期】

1970年 (昭和45年) 以前	1971~1980年 (昭和46~55年)	1981~1990年 (昭和56~平成2年)	1991~1995年 (平成3~7年)	1996~2000年 (平成8~12年)	2001~2005年 (平成13~17年)	2006~2010年 (平成18~22年)	2011~2015年 (平成23~27年)	2016~2018年9月 (平成28~30年9月)
5,560	15,890	25,890	12,640	16,070	17,080	9,950	10,700	3,410

耐震性, 断熱/省エネ性, ZEH等, 防災や脱炭素の観点から更新時期がチャンス?

事務所/店舗/銀行 1400棟, 病院/ホテル 86棟, 工場/倉庫/市場 9200棟, その他 (蔵など) 1300棟 等 住宅以外の建物数も多い

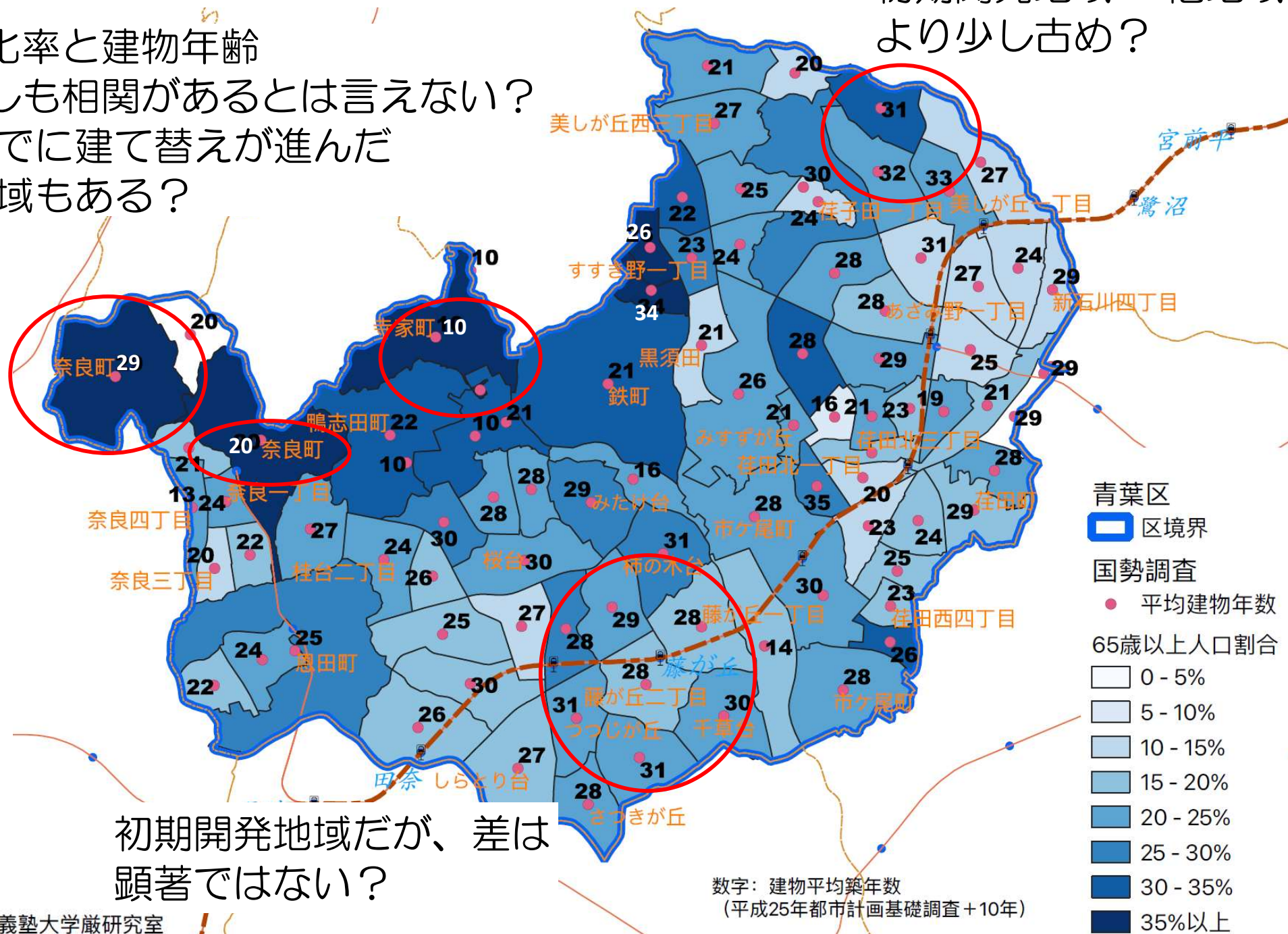
青葉区町丁別高齢化率と建物年齢

高齢化率と建物年齢

必ずしも相関があるとは言えない？

→ すでに建て替えが進んだ地域もある？

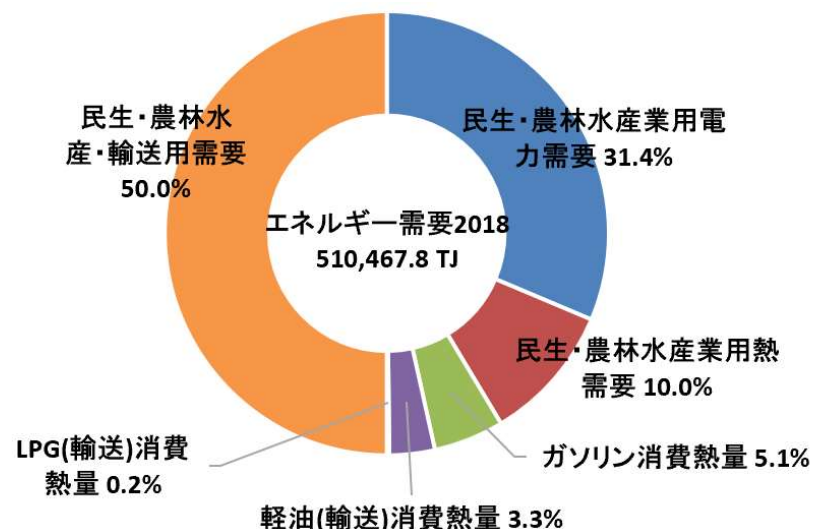
初期開発地域 → 他地域より少し古め？



初期開発地域だが、差は
 顕著ではない？

エネルギー需給(横浜市)

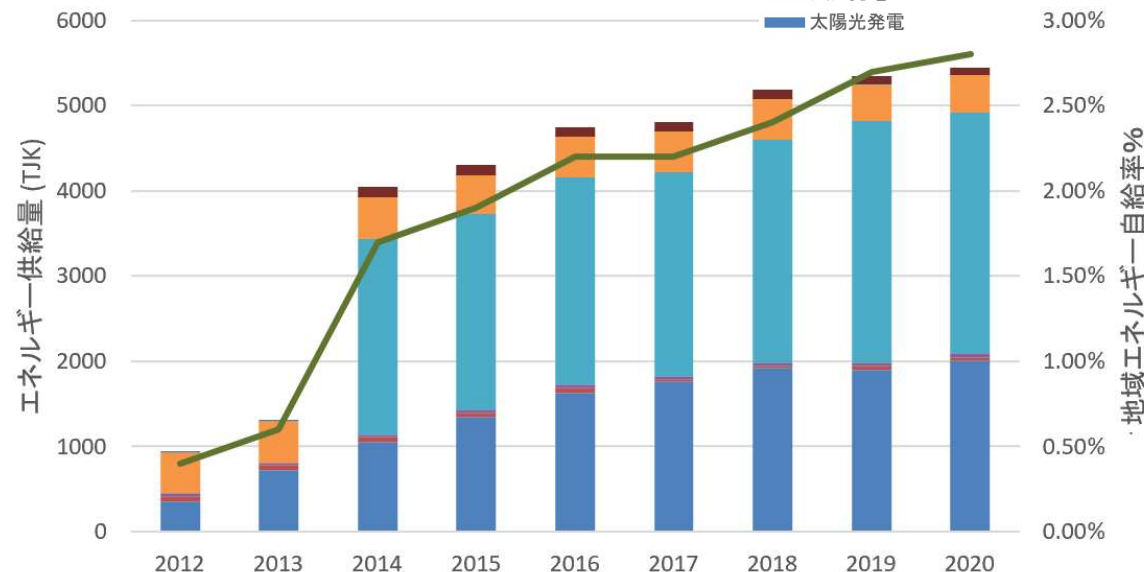
【エネルギー需要】



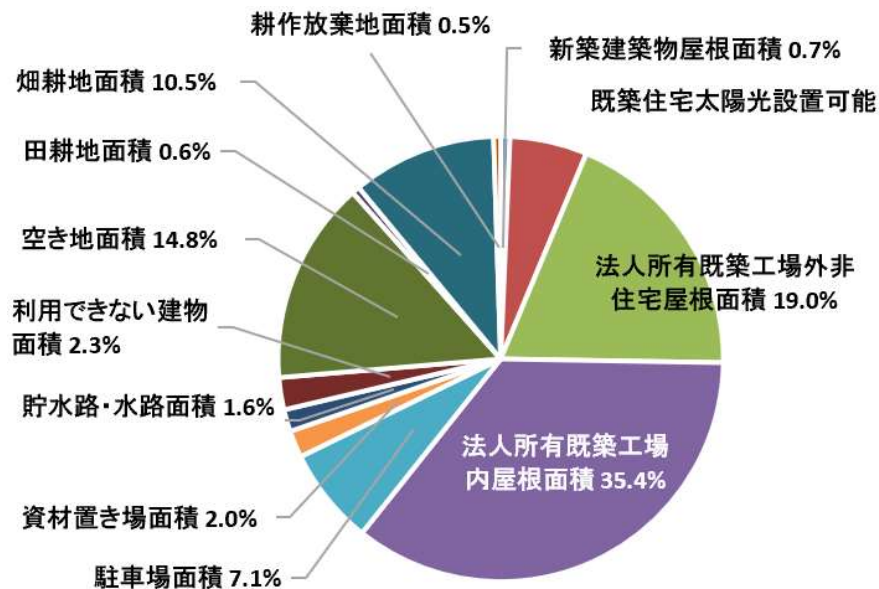
エネルギー需要は民生（家庭・業務）の電力と輸送用が多い。

横浜市で最大の（つまり、搭載可能な全面積に太陽光パネルを載せた場合）の自給率 135%とも
→現実的に考えても60%程度の可能性はある（同時に省エネや発電に合わせた行動変容も重要に）

【再エネ供給量の推移】



【太陽光設置ポテンシャル(最大)】



統計からみた横浜市各区の省エネ・脱炭素化の取り組み

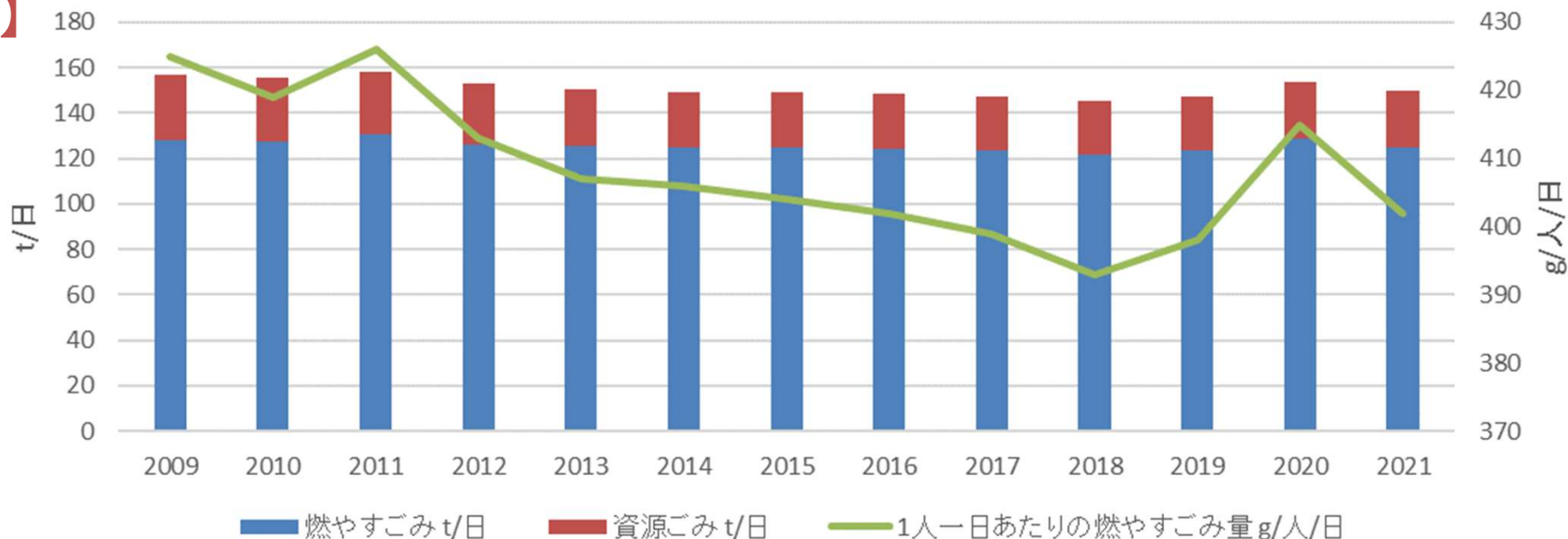
H30 省エネルギー設備等									道路密度			自動車保有
省エネ住宅		太陽熱を利用した温水機器等	%	太陽光を利用した発電機器	%	二重サッシまたは複層ガラスの窓		%	総延長	舗装延長	宅地haあたり(m)	車(台)/世帯
行政区	総数 1) 2)	あり		あり		すべての窓にあり	一部の窓にあり					
総数	1,649,000	17,000	1.03	35,500	2.15	190,100	203,300	23.86	7,872,953	7,744,864	385	0.60
鶴見区	134,430	970	0.72	1,850	1.38	12,500	15,530	20.85	425,792	421,107	218	0.53
神奈川区	120,830	1,050	0.87	1,880	1.56	14,600	12,380	22.33	434,770	429,237	373	0.48
西区	52,780	220	0.42	330	0.63	6,290	4,670	20.77	137,207	137,158	380	0.44
中区	71,980	160	0.22	470	0.65	7,790	6,770	20.23	263,925	262,987	272	0.60
南区	96,870	1,030	1.06	1,430	1.48	9,940	9,510	20.08	303,040	301,734	407	0.39
港南区	90,400	950	1.05	2,070	2.29	9,760	12,950	25.12	447,927	443,808	423	0.58
保土ヶ谷区	93,940	1,030	1.10	2,000	2.13	9,270	11,720	22.34	374,856	371,358	388	0.54
旭区	103,820	1,800	1.73	3,190	3.07	11,240	13,190	23.53	601,459	582,713	438	0.70
磯子区	74,020	720	0.97	2,430	3.28	8,880	9,850	25.30	300,358	297,353	268	0.52
金沢区	86,140	730	0.85	1,640	1.90	11,250	9,920	24.58	496,616	490,753	360	0.66
港北区	164,400	1,280	0.78	2,680	1.63	17,620	18,350	21.88	585,615	578,474	382	0.53
緑区	76,180	910	1.19	2,260	2.97	9,820	8,740	24.36	461,832	451,189	499	0.66
青葉区	127,350	1,670	1.31	3,810	2.99	18,760	21,780	31.83	740,302	729,261	433	0.70
都筑区	79,390	1,000	1.26	2,040	2.57	9,990	9,890	25.04	574,198	567,298	462	0.99
戸塚区	116,020	1,200	1.03	2,990	2.58	15,120	16,890	27.59	641,057	627,457	414	0.66
栄区	49,060	760	1.55	1,470	3.00	5,130	6,520	23.75	340,626	335,142	445	0.63
泉区	60,600	900	1.49	1,660	2.74	6,560	7,850	23.78	437,492	425,226	484	0.74
瀬谷区	50,740	590	1.16	1,250	2.46	5,620	6,750	24.38	305,880	292,609	413	0.75

データの出典: データ源: 横浜市統計ポータルをもとに慶応義塾大学 厳研究室作成

自動車依存が高い。田園都市線がなかったら高い方へシフトしただろう…

ごみの排出量

【青葉区】



【自治体比較】

生活系ごみ1人1日当たりの排出量(2020) (g/人日)	横浜市	鎌倉市	葉山町	逗子市	横須賀市	箱根町	神奈川県
	607	669	767	754	711	882	632

※この排出量と上図のごみ量の単純比較はできない
 上図に基づく横浜の1人一日あたりの燃やすごみ量は397 (↔青葉 402)

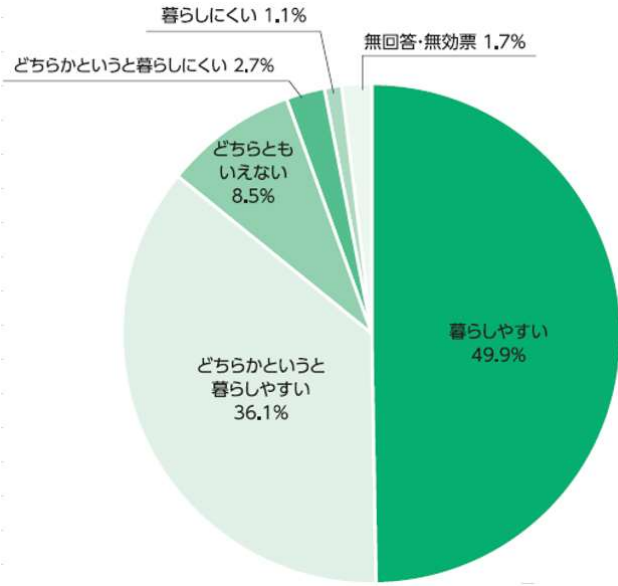
経年的にはごみ総量および燃やすごみ量ともに微減してきたが、コロナ禍で増加、2021年は再び減少するも、最小値の2018年からは増加のまま。リサイクル率としての計算は難しい(横浜市としては23.2%)

⇒ 住宅の建築面積が大きい+所得が高い=多消費型ライフスタイル?
 それを市民の環境意識が支えている?

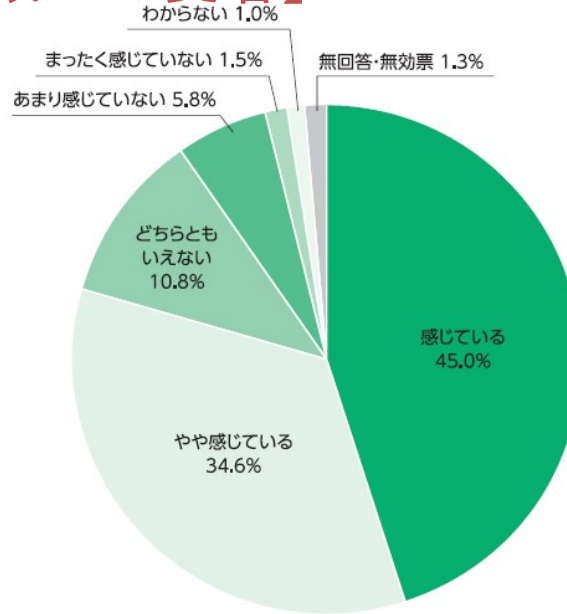
市民の意識

日々の暮らしやすさが、高い地域への愛着や定住意向につながっている。（地域愛着も横浜市に対する愛着よりも7ポイント高）

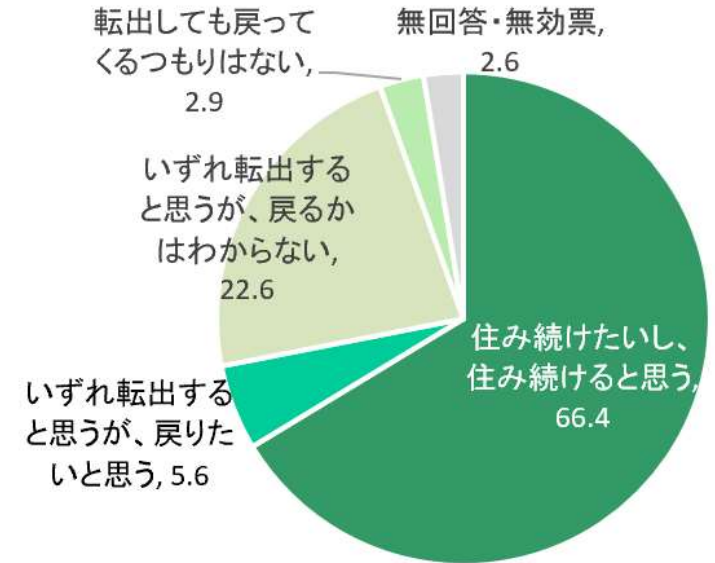
【暮らしやすさ】



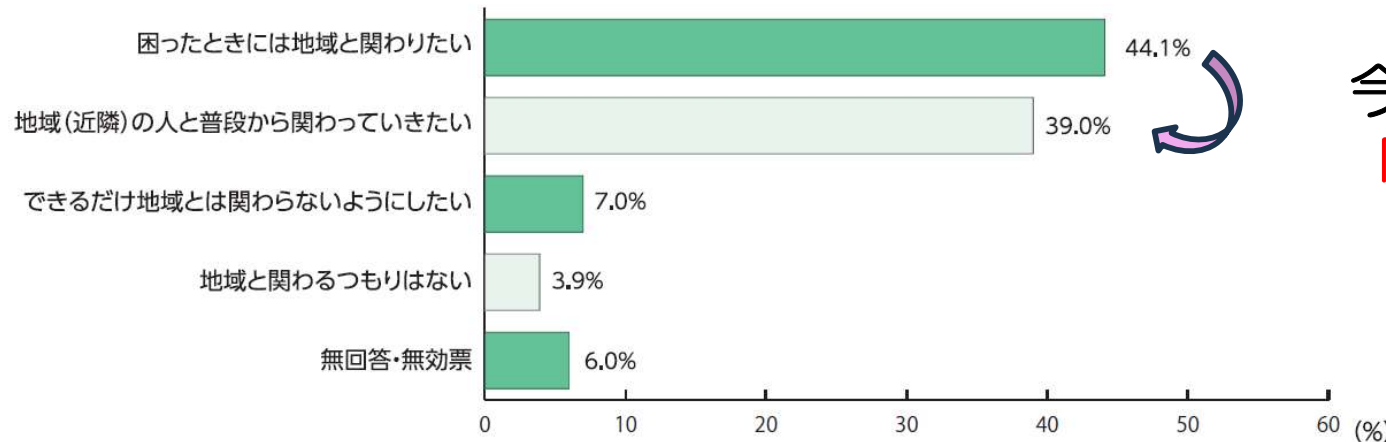
【地域への愛着】



【住み続けたいか】



【地域とのかかわり】



n=2,833
※令和4年度 青葉区区民意識調査

今後まちに望むこと
「快適な生活環境が整っているまち」78%
→この気候市民会議を
チャンスに！

データについて

本データの多くは政府や自治体のオープンデータによって作成しました。将来推計には複雑な前提条件等がありますが、この資料では触れていません。前提条件等について確認したい場合は出典をたどってください。

青葉区役所のホームページでは、本資料でご紹介したような土地利用や人口統計、世帯の情報など地区ごとの情報が掲載されています（11月1日現在は平成27年度国勢調査に基づいたデータです）

未来カルテは、研究プロジェクト「オポッサム (OPoSuM-DS/OPoSSuM)」(研究代表者: 千葉大学倉阪秀史) の成果物です。

<https://ristex2014.sakura.ne.jp/karte/>

町丁別高齢化率マップ、十建物年齢マップ および省エネ・脱炭素化表は慶応大学湘南藤沢キャンパスの巖網林先生のご協力にて作成いただきました。



横浜市オープンデータポータル

横浜市

人口 377万1,766人 (前年同月比(-195人) 令和5年10月1日)

世帯数 179万9,480世帯 (令和5年10月1日)

社会増減数 670 (令和5年9月中)

[オープンデータを探す](#) [データを見る横浜](#)

<https://data.city.yokohama.lg.jp/>



なるほどあおば 2022

データで見る青葉区

横浜市青葉区役所

<https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kusei/tokei/hakusho.html>



横浜市 City of Yokohama

青葉区

掲載項目

- 基本情報 (世帯数・人口・年齢3区分別人口・高齢化率)
- 地形図・区民利用施設分布図
- 年齢4区分別人口推移
- 人口増減率
- 5歳階級別人口比率
- 5歳階級別人口推移
- 子ども人口分布
- 人口比率 (単位町内会別、250mメッシュ)
- 世帯構成
- 子どもがいる世帯の推移
- 高齢者世帯の推移
- 土地利用構成
- 居住期間
- 常住地による就業地

※国勢調査などを基に作成

青葉区地区別データ集 イメージ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/aoba/kusei/tokei/aobakuchikubetudata.html>